

令和4年度

「協働」に関する事業、施策等の実績について

令和5年8月

令和4年度 協働事例件数

(所属部・課)

| 所属部・課 | 件数 | 備考 |
|-------------|----|-----------|
| 総務部 | 1 | |
| 行財政改革課 | 1 | |
| 危機管理部 | 4 | |
| 危機管理課 | 4 | うち1事業は複数課 |
| 人権政策局 | 4 | |
| 人権推進課 | 2 | |
| 男女共同参画課 | 2 | |
| 企画推進部 | 10 | |
| 政策企画課 | 5 | |
| 文化交流課 | 5 | |
| 市民生活部 | 22 | |
| 地域振興課 | 7 | |
| 協働推進課 | 13 | |
| 市民総合相談課 | 2 | |
| 福祉部 | 5 | |
| 長寿社会課 | 3 | |
| 地域福祉課 | 2 | うち1事業は複数課 |
| 健康こども部 | 8 | |
| こども家庭課 | 2 | |
| 健康・子育て推進課 | 5 | |
| 生活安全課 | 1 | |
| 経済観光部 | 5 | |
| 経済・雇用戦略課 | 1 | |
| 観光・ジオパーク推進課 | 4 | |
| 農林水産部 | 2 | |
| 農村整備課 | 1 | |
| 林務水産課 | 1 | |
| 都市整備部 | 12 | |
| 交通政策課 | 3 | |
| 中心市街地整備課 | 4 | |
| 都市環境課 | 2 | |
| 道路課 | 3 | |

| | | | |
|----------|------------|-----|-----------|
| 環境局 | | 3 | |
| | 生活環境課 | 2 | |
| | 廃棄物対策課 | 1 | |
| 教育委員会事務局 | | 23 | |
| | 教育総務課 | 2 | |
| | 学校教育課 | 2 | |
| | 学校保健給食課 | 1 | |
| | 生涯学習・スポーツ課 | 8 | |
| | 中央図書館 | 3 | |
| | 文化財課 | 7 | |
| 総合支所 | | 28 | 教委分室含む |
| | 国府町総合支所 | 4 | |
| | 福部町総合支所 | 2 | |
| | 河原町総合支所 | 3 | |
| | 用瀬町総合支所 | 6 | |
| | 気高町総合支所 | 5 | |
| | 鹿野町総合支所 | 6 | |
| | 青谷町総合支所 | 2 | |
| | 合 計 | 126 | 重複する事業を除く |

市民等との協働による取組事例(令和4年度実績)

| 番号 | 事業名 | 担当課 | 協働の相手方(該当するものは全て選択) | | | | | | | 事業の形態 | | | | | | | | 事業の概要 | 事業の効果 | 事業の実績(実績値) |
|----|-------------------|--------|---------------------|---------|-----------|------------|-------|---------|-----------|-----------|------|---------|--------|------|---------|------|-------------|---|---|---|
| | | | ① 広く市民一般 | ② NPO団体 | ③ 自治会、町内会 | ④ まちづくり協議会 | ⑤ 企業等 | ⑥ 園、PTA | ⑦ その他の団体等 | ⑧ 具体的な名称等 | ① 共催 | ② 実行委員会 | ③ 事業協力 | ④ 後援 | ⑤ 補助・助成 | ⑥ 委託 | ⑦ 情報提供・情報交換 | | | |
| 1 | 行財政改革大綱の進行管理 | 行財政改革課 | | | | | | | ○ | | | | | | | | | 市政改革プランに沿った行財政改革を着実に進めていくため、鳥取市市政改革推進市民委員会(令和元年度までは行財政改革推進市民委員会)において、プランに基づく実施計画の進行状況等について評価を行うとともに、行財政改革の推進に関する重要事項を調査審議します。 | プランに基づく実施計画の進行状況や、今後の見直し方針等について、学識経験者等の専門的見地や市民の視点から検証し、意見・提言を受け、行財政改革の観点から内容を検討の上、次年度以降の実施計画に反映するなど、行政運営の改善に活用します。 | ・市政改革推進市民委員会(委員数10名の内、公募委員2名) ・6回開催 ・市政改革プランの二次評価を実施 |
| 2 | 鳥取市自主防災会連合会 | 危機管理課 | | | ○ | | | | | | | | | | | | | 鳥取市自主防災会連合会に対し補助を行い、当会より傘下の地区自主防災連絡協議会及び自主防災組織に対し、訓練や講習会、消火器の設置等に対し助成を行っていただき、地域防災力の向上を図ります。 また、未結成の町内に対する自主防災会結成の働きかけを行い、地域自主防災力の向上を図ります。 | 自主防災組織の実施する訓練等に要する経費や、防災資機材整備の一部等を補助することにより、地域防災力の向上を図ります。 | ▼年2回以上訓練を実施した自主防災会(活動助成金支給)…424団体 ▼防災資機材(消火器購入・詰替、ホース格納箱更新、小型ポンプ修繕等)の経費助成…60団体 ▼地区自主防災会連絡協議会が実施した訓練・講習会の活動助成…52地区 ▼自主防災会新規結成助成…0団体 |
| 3 | 鳥取市がまち防災支援補助金 | 危機管理課 | | | ○ | | | | | | | | | | | | | 自主防災会連絡協議会が実施する地区における避難所運営に関する防災資機材等の整備及び防災活動に必要な事業を支援することにより災害時における防災力の向上及び地域防災力の充実・強化を図ります。 ・補助対象期間 令和3年度から令和4年度までの2ヵ年予定 | 避難所運営に関する防災資機材等の整備及び防災活動に必要な事業を支援することにより災害時における防災力の向上及び地域防災力の充実・強化を推進します。 | ▼補助金交付…30地区 |
| 4 | 小型可搬式ポンプ整備補助金 | 危機管理課 | | | ○ | | | | | | | | | | | | | 自主防災会で使用する小型可搬式ポンプ整備に対し、必要な事業の支援を行うことにより、地域防災力の充実・強化を図ります。 ・補助対象期間 平成30年度から令和9年度までの10ヵ年予定 | 小型可搬式ポンプ整備に要する必要な経費を支援することで、地域防災力の強化を推進します。 | ▼補助金交付…3団体 ※年間上限3団体 |
| 5 | 鳥取市地区人権教育推進事業 | 人権推進課 | ○ | | ○ | | | | | | | | | | | | | 鳥取市地区人権啓発推進協議会連合会(以下連合会)は、昭和56年に組織され全市で52地区同推協等(～地区同和教育推進協議会または、～地区人権教育推進協議会、または～地区人権・同和教育推進協議会と名称にばらつきがあるため、「地区同推協等」という表現で取りまとめる。)が加盟しています。 それぞれの地区同推協等においての小地域懇談会を主とした諸活動を充実させるため、各地区の会長・推進員を対象とした研修会や情報交換などの学習機会の提供を行います。 この連合会が行う事業の一部を支援することにより、差別のない明るい人権尊重都市鳥取の実現を目指します。 | 各地区同推協等が主体となって、町内会単位での小地域懇談会を開催し、人権について学習する機会を提供します。 これにより、多くの市民の人権意識を高めるきっかけをつくることができ、それぞれの地域における「差別のない明るいまちづくり」の実現が期待されます。 | 令和4年度小地域懇談会の実施 ・参加人数 4,737人 ・開催回数 265回 ・開催町区数 385町区 ・実施率 46.3% (385町区/832町区) |
| 6 | 人権尊重社会を実現する鳥取市民集会 | 人権推進課 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | 人権問題をはじめとするあらゆる人権課題の解決をめざして研修を深め、実践と交流の輪を広げることを目的に市民集会を開催します。 期 日 令和4年10月7日(金) 場 所 とりぎん文化会館 内 容 全体会(講演)、7分科会(人権課題別) | 市民集会の開催により、市民に人権意識の向上の機会を提供することができ、「差別のない人権尊重都市鳥取市」の実現が期待されます。 | 参加者 288人(全体会) 353人(分科会) |

市民等との協働による取組事例(令和4年度実績)

| 番号 | 事業名 | 担当課 | 協働の相手方(該当するものは全て選択) | | | | | | | 事業の形態 | | | | | | | | 事業の概要 | 事業の効果 | 事業の実績(実績値) |
|----|------------------------|---------|---------------------|----------------|-----------|------------|-------|------------------|-----------|-----------|------|---------|--------|------|---------|------|---|---|---|------------|
| | | | ① 広く市民一般 | ② NPO団体・市民活動団体 | ③ 自治会、町内会 | ④ まちづくり協議会 | ⑤ 企業等 | ⑥ 学校、PTA、保育園、幼稚園 | ⑦ その他の団体等 | ⑧ 具体的な名称等 | ① 共催 | ② 実行委員会 | ③ 事業協力 | ④ 後援 | ⑤ 補助・助成 | ⑥ 委託 | ⑦ 情報提供・情報交換 | | | |
| 7 | 女(ひと)と男(ひと)とのハーモニーフェスタ | 男女共同参画課 | ○ | ○ | | | | | ○ | | | | | ○ | | | ・令和4年10月1日(土)開催 ・丸由百貨店にて開催、550人参加 ※鳥取東高書道、麒麟獅子舞によるオープニング、県自主防災活動アドバイザーによる講演、登録団体の活動展示などを実施。 | 女性の積極的な社会参画意識の高揚と男女共同参画に関する市民の意識啓発が図られる。 男女共同参画登録団体をはじめとする男女共同参画社会の実現を目指す団体活動の育成・活性化・PRが図られた。 | イベント参加者 延べ550名参加 | |
| 8 | 男女共同参画市民自主企画イベント事業 | 男女共同参画課 | | ○ | ○ | ○ | | | ○ | | | | | ○ | | | 男女共同参画社会の実現に資するイベントなどを企画した市民グループ等にイベント開催業務を公募・実施した。 【テーマ】 仕事と家事と自分時間の調和した生活モデルの実現！～子どもと暮らす生活編～ ・事業期間 令和4年7月から令和5年3月 ・市内民間1団体に対し、事業委託 ・大人だけではなく、子どもへの家事参画を目的に「名もなき家事ZOO」を実施。市内の幼稚園・保育園等でワークショップを開催。 | 市民団体へ自主企画事業を委託することにより、官民一体となった啓発を推進することができた。 また、子どもが家事について楽しく知り・考えるワークショップを通して、かがやきプランの目標でもある「子どもの頃からの男女平等の推進」について効果的に啓発を行うことができた。 | 事業委託団体 1団体 市内保育園2園で実施 | |
| 9 | 鳥取市総合企画委員会 | 政策企画課 | | | | | | | ○ | | | | | | | ○ | 第11次鳥取市総合計画及び第2期鳥取市創生総合戦略を着実に進めていくため、進捗状況の把握を行い、成果を重視した進捗管理を行います。 | 第11次鳥取市総合計画及び第2期鳥取市創生総合戦略の着実な推進に寄与します。 | ・鳥取市総合企画委員会(委員数20名)の開催(年2回開催) ・第11次鳥取市総合計画及び第2期鳥取市創生総合戦略の進捗管理 | |
| 10 | とっとり若者地方創生会議 | 政策企画課 | | | | | | | ○ | | | | ○ | | | | 地方創生の中心課題である若者の移住・定住やまちのにぎわいづくりに必要となる施策について、若者の視点による地方創生の深化に向けた意見の反映を図るため、「とっとり若者地方創生会議」を設置しています。 | 市内在住の若者の意見や提言の市政への反映や、積極的にまちづくり活動に取り組む若者の育成に寄与します。 | ・会議(年間16回開催)の開催 ・成果発表会(年1回)の開催及び提言書の提出 | |
| 11 | 地方創生ストリートミーティング | 政策企画課 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | ○ | 「鳥取市創生総合戦略」では「ひとづくり」を第一の柱に据え、若い世代の希望がかなえられるまちづくりを進めるため、市長自ら若者と対話し、いただいた意見を施策に反映させるものです。 | 次代を担う若者等からの意見の施策への反映に寄与します。 | ・若い世代と市長との座談会(ストリートミーティング)を開催する。(年1回) | |
| 12 | 連携中枢都市圏ビジョン懇談会 | 政策企画課 | | | | | | | ○ | | | | | | | ○ | 因幡・但馬麒麟のまち連携中枢都市圏ビジョンに掲げる事業を着実に推進していくため、進捗状況の把握を行い、成果を重視した進捗管理を行います。 | 因幡・但馬麒麟のまち連携中枢都市圏ビジョンの着実な推進に寄与します。 | 連携中枢都市圏ビジョン懇談会(委員数19名程度)の開催(年3回) ・因幡・但馬麒麟のまち連携中枢都市圏ビジョンの進捗管理 ・第2期ビジョン策定にあたっての意見聴取 | |
| 13 | 市政懇話会 | 政策企画課 | | | | | | | ○ | | | | | | | ○ | 市民の市政に対する意見を幅広く聴き、市政の発展を図るために懇話会を開催します。 | 市民からの意見を幅広く聴くことで施策への反映に寄与します。 | ・鳥取市政懇話会(委員数15名)の開催(年2回) | |

市民等との協働による取組事例(令和4年度実績)

| 番号 | 事業名 | 担当課 | 協働の相手方(該当するものは全て選択) | | | | | | | 事業の形態 | | | | | | | | 事業の概要 | 事業の効果 | 事業の実績(実績値) | |
|----|---------------|------------------|---------------------|---------|-----------|------------|-------|------------------|-----------|---------|------|---------|--------|------|---------|------|-------------|--------------------------------------|--|--|--|
| | | | ① 広く市民一般 | ② NPO団体 | ③ 自治会、町内会 | ④ まちづくり協議会 | ⑤ 企業等 | ⑥ 学校、PTA、保育園、幼稚園 | ⑦ その他の団体等 | 具体的な名称等 | ① 共催 | ② 実行委員会 | ③ 事業協力 | ④ 後援 | ⑤ 補助・助成 | ⑥ 委託 | ⑦ 情報提供・情報交換 | | | | ⑧ その他 |
| 14 | 市民国際交流推進事業 | 文化交流課 | | ○ | | | | | | | | | | | | | | 市民団体 | 国際姉妹都市である韓国・清州市及びドイツ・ハーナウ市との交流事業を各種団体との連携により実施する。 | 官民連携により、清州市ならびにハーナウ市との交流事業を実施することにより、市民の国際意識の高揚、相互理解の増進を図ることで、友好協力関係の維持と相互の発展に寄与することができる。 | 令和4年度実績 (ハーナウ市) ・国際理解講座 ドイツ国際交流員及び外部講師による「ドイツを知る」ための公開講座の開催(鳥取ハーナウ友好親善協会主催) ・交流事業 鳥取ハーナウ友好親善協会と友好協会ハーナウ鳥取のオンライン交流会の実施 |
| 15 | 芸術の出前講座事業 | 文化交流課 | | ○ | | | | | | | | | | | | | | 鳥取市文化団体協議会 | 鳥取市文化団体協議会に委託し、地域の文化芸術活動の実践者が指導者として学校に出向き、子どもたちに文化芸術の指導を行う。 (平成17年度から事業開始) | 鳥取地域で活躍している文化活動者が学校に出向き、子どもたちへ文化の楽しさを伝授するとともに、文化活動者は日頃の活動を生かし、学校での取り組みが難しい芸術文化活動を指導する。 子どもたちは、同じふるさとに住む身近な人とのふれあいを通して、芸術文化に親しみ、表現する楽しさを感じながら、豊かな感受性を育むことができる。 | 令和4年度実績 ・実施校:2校(逢坂小、宝木小) ・参加児童数:63人 ・実施分野:6分野(安来節、クラシックギター、ちぎり絵など) ・合同作品展 12/3～12/12、鳥取市文化センター展示ホールにて開催 |
| 16 | 100曲マラソン開催事業 | 文化交流課 | | | | | | | | | | | | | | | | | 出演者と来場者が100曲の童謡唱歌を歌いつなぐ市民参加型のコンサート事業 | 童謡唱歌の普及と音楽団体の親睦を図るとともに市民が童謡唱歌に親しむ機会を創出する。 | 令和4年度実績 童謡唱歌の会と連携し6月17日(金)地元合唱団体(18団体の参加により開催 |
| 17 | 市民美術展開催費 | 文化交流課 | | | | | | | | | | | | | | | | | 麒麟のまち圏域の住民等を出品資格とする洋画・書道・写真など9部門の美術展覧会の開催事業 | 麒麟のまち鳥取市美術展を開催することにより市民の文化芸術活動の成果発表及び鑑賞の場を提供する。 | 令和4年度実績 ・出品数 284点件 ・来場者数 3,188人 ・入選作品展(県立博物館)、入賞作品展(やまびこ館)を実施 |
| 18 | 市民国際理解推進事業費 | 文化交流課 国際交流プラザ | | | | | | | | | | | | | | | | | 外国人住民を含む市民が他国の文化にふれ、交流する機会として、多文化交流フェスタを実施。 | 外国人住民と地域住民との親睦・交流を深め、文化や習慣などを知ることにより、相互理解の増進につながる。 | 令和4年度実績 ・実施日 12月11日(日) ・参加人数 400人 |
| 19 | グリーンツーリズム推進事業 | 地域振興課 | | ○ | | | | | | | | | | | | | | 鳥取市グリーンツーリズム連絡会、とっとり因幡グリーンツーリズム推進協議会 | 研修会の開催等により、会員相互の情報共有ならびに会員と市職員(市民生活部地域振興課および各総合支所グリーンツーリズム担当)との連携を図り、市内グリーンツーリズム活動の活性化を図ります。 | ツーリズム資源の保全、自然、景観、生活文化などの環境保全が図られます。 農産物の生産・加工・販売や、農林水産業の体験、農家民泊などにより経済的効果が期待できます。 農村住民と都市住民とのコミュニケーションの活性化による、移住定住促進などの社会的効果が期待できます。 | 【鳥取市グリーンツーリズム連絡会】 ・研修会 年2回実施 |
| 20 | 人材誘致・定住促進対策事業 | 地域振興課 | | | | | | | | | | | | | | | | 鳥取ふるさとUI(友愛)会 | 移住定住者の交流やネットワークづくり、また、棚田水路保全作業などのボランティア活動に積極的に協力することで、移住定住とまちづくりの側面支援に貢献します。 | 市外・県外から鳥取市へ移住定住された方々が、「楽しく、有意義で、快適な生活」が出来るよう、交流の会を作って活動を行います。(当初上記の目的で発会、現在賛同者は随時会員に。) | ・定住者交流会の開催 R4年度1回 ・鳥取ふるさとUI(友愛)会総会 |
| 21 | 輝く中山間地域創出事業 | 地域振興課 | | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | 鳥取市内に住所を有する各種団体 | 中山間地域の活性化を目指し展開する、地域活性化計画の策定及び策定した計画に基づくソフト事業及び地域資源等を活用した、むら(中山間地域住民)とまち(市街地住民)による交流事業に対し、補助金を交付します。 | 地域住民、団体等が自ら創意工夫を凝らした事業に取り組みむことで、集落の維持活性化及び地域活力の再生が図られます。 | 取組団体 7団体 (計画策定・ソフト事業・里山交流事業) |

市民等との協働による取組事例(令和4年度実績)

| 番号 | 事業名 | 担当課 | 協働の相手方(該当するものは全て選択) | | | | | | | 事業の形態 | | | | | | | | 事業の概要 | 事業の効果 | 事業の実績 (実績値) |
|----|------------------------|-------|---------------------|--------------------|--------------|---------------|----------|------------|--------------|------------------|---------|------------|-----------|---------|------------|---------|--|--|--|----------------|
| | | | ① 広く市民一般 | ② NPO 市民活動団体 | ③ 自治会、町内会 | ④ まちづくり協議会 | ⑤ 企業等 | ⑥ 園、PTA | ⑦ その他の団体等 | ⑧ 具体的な 名称等 | ① 共催 | ② 実行委員会 | ③ 事業協力 | ④ 後援 | ⑤ 補助・助成 | ⑥ 委託 | ⑦ 情報提供・情報交換 | | | |
| 22 | 中山間地域・買い物支援事業 | 地域振興課 | | | | | | ○ | ○ | | | | | | | | 移動販売車導入経費、移動販売車運営経費及び移動販売と見守り活動を組み合わせた買い物福祉サービスに係る経費の一部を助成します。 | 買い物困難地域(店舗・移動販売のない地域)における買い物環境の改善を図ると同時に、見守り活動の推進も強化することで、安全安心な生活を確保します。 | ・移動販売車運営支援 1社 ・買い物福祉サービス支援 3社 | |
| 23 | 中山間集落見守り活動支援事業 | 地域振興課 | | | | | | | | | | | | | | ○ | 中山間地域等で事業活動を営む事業者と市及び県との間に協定を結び、中山間地域等の集落の見守り活動を行います。 | 事業者と行政機関が連携して住民の日常生活の異常等を早期発見する体制を整備し、中山間地域で安全安心に生活できる地域づくりを推進します。 | 協定締結数 令和4年度末現在:33事業者 | |
| 24 | 移住定住空き家運営事業 | 地域振興課 | | ○ | | | ○ | | | | | | | | | ○ | 空き家を活用した定住を促進するために、地域のまちづくり活動団体に空き家運営業務を委託し、移住定住希望者それぞれの要望に合わせた空き家の情報提供とマッチングに取り組みます。 | 地域の住民と一体的に事業を実施することによって、移住定住後の安全安心な生活が確保されます。 | 取組団体 7団体 | |
| 25 | お試し定住体験事業 | 地域振興課 | | ○ | | | ○ | | | | | | | | | ○ | 地域の空き家をお試し体験施設として運営し、移住を検討されている方に試験的に暮らしてもらい、農林漁業などの体験や地域活動に参加していただくことなど本市の気候や風土を体感して移住定住につなげていく取り組みです。 | 地域住民と一体的に事業を実施することにより地域の人口増加と地域活性化に繋がります。 | 取組団体 3団体 | |
| 26 | 全市一斉清掃 | 協働推進課 | | | | | | | | ○ | | | | | | | 各地域で一斉清掃日を定め、清掃美化活動を展開しています。 ・対象者 鳥取市民全員 ・実施日 鳥取地域 5/15、10/16(春、秋ともに中止) 国府地域 7/31 用瀬地域 7/10、11/13 気高地域 5/10、10/16 鹿野地域 11/6 青谷地域 3/27、4/3、4/10 福部、河原、佐治地域 各町内会で実施 ・実施回数 年2回 | 地域全域が一度にきれいになり、市民の美化に対する意識が高まります。また、一斉に行うことでごみの収集も効率的で費用も安く抑えることができます。 | 年2回実施 鳥取地域 ・春の一斉清掃 R4.5.15 中止 ※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止 ・秋の一斉清掃 R4.10.16 中止 ※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止 →春・秋いずれも中止となったものの、各地域の判断で清掃が実施され、鳥取市でごみ収集を実施 | |
| 27 | 鳥取市市民運動推進協議会 | 協働推進課 | ○ | ○ | ○ | | | ○ | | ○ | | | | | | | 市民が主役となって運動を推進することにより、美しく住みよいまちづくりをめざします。 【事業内容】 ・花いっぱい運動 ・一斉清掃事業 ・地域美化活動団体への助成 | 市民が主役となって運動を推進することにより、美化意識の高揚が図られています。 | ・プランターコンクールの開催 ・ボランティア団体へごみ袋を提供 ・全市一斉清掃の実施 | |
| 28 | 鳥取市市民まちづくり提案事業(協働事業部門) | 協働推進課 | | ○ | | | | | | | | | | | | ○ | 行政課題の解決のために提案された、市民活動団体の新しい発想や柔軟性、専門性を活かした「まちづくり事業」に対して助成することにより、市民活動の活性化、及び市民と行政の協働によるまちづくりの推進を図ります。 ○協働事業部門(市民等が市と協働することでさらなる行政課題の解決が期待できる事業) 補助率 10/10 補助限度額 上限100万円の中で各テーマに沿って限度額設定 公共施設を活用した脱炭素の取組啓発:60万円 日本遺産を生かしてまちを元気に:30万円 | 市民活動の活性化を促進させるとともに、市民が参加する市民活動事業が実施されることで、市民活動の意義が啓発されます。また、様々な行政課題の解決を図る「まちづくり事業」の提案を市政に反映させることにつながります。 | 公共施設を活用した脱炭素の取組啓発:1団体(60万円) 日本遺産を生かしてまちを元気に:1団体(30万円) 計:2団体 | |

市民等との協働による取組事例(令和4年度実績)

| 番号 | 事業名 | 担当課 | 協働の相手方(該当するものは全て選択) | | | | | | | 事業の形態 | | | | | | | | 事業の概要 | 事業の効果 | 事業の実績(実績値) |
|----|--------------------------|-------|---------------------|----------------|------------------|-------------------|----------|------------|-------------------|----------|---------|----------------|---------------|---------|----------------|---------|----------------------------|--|--|---|
| | | | ① 広く市民一般 | ② NPO 団体 | ③ 自治会、 町内会 | ④ まちづくり 協議会 | ⑤ 企業等 | ⑥ 園、PTA | ⑦ 学校の 他の団体等 | ⑧ その他 | ① 共催 | ② 実行 委員会 | ③ 事業 協力 | ④ 後援 | ⑤ 補助・ 助成 | ⑥ 委託 | ⑦ 情報 提供・ 情報 交換 | | | |
| 29 | 鳥取市ボランティア・市民活動センター業務委託事業 | 協働推進課 | | ○ | | | | | | | | | | | ○ | | | ボランティア・市民活動に対する様々なサポートや啓発活動、及びボランティア・市民活動に関する調査、広報、研修などを委託し、ボランティアや市民活動団体の育成を図ります。 | 市民のボランティア・市民活動に対する理解と関心を高め、参加を促し、支援を行うことで、本市のボランティア・市民活動の推進につながります。 | 市民活動拠点アクティブとっとり登録団体数143団体 市民活動拠点アクティブとっとり会議室利用944件 ボランティア・市民活動研修 68回開催 |
| 30 | 鳥取市社会奉仕活動等補償 | 協働推進課 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | ○ | | 市民活動中の事故等による傷害や損害賠償などの保険に加入することにより、市民が安心して市民活動を行えるよう支援します。 | 多くの市民に市民活動への参加を促すことができます。 | 加入者数 延べ380,000人 |
| 31 | コミュニティ支援事業 | 協働推進課 | | | | | | | | | | | | | | | | 「まちづくり協議会」が各地区で設立されると、地域コミュニティ計画の作成や計画に基づく協働のまちづくり事業が実施されます。このため、地域との対話を重視しながら、人的・財政的支援を充実し、「協働のまちづくり」の着実な前進を図るよう、各種の事業を展開します。 1. 人的支援の充実 ①「まちづくり協議会」を設立し、事業を展開する地区には、標準的な職員体制に加えて、原則として、嘱託職員1名の配置を行います。 ②地域組織のあり方や活動の見直し及び課題の洗い出し等を実施する協議会へ専門知識を有する民間アドバイザーを派遣する『地域アドバイザー派遣事業』を試行します。 2. 財政支援の強化 地域コミュニティのより一層の充実・強化を図り、地域が効果的に事業を実施できるよう、地域運営組織活動支援事業交付金の充実を図ります。 | 市民と行政が適切な協力関係で支え合う「市民と行政による協働のまちづくり」を進めるため、コミュニティ活動への支援を行うことで、自立したコミュニティ活動の推進が可能となります。 | ・地域コミュニティ計画の策定 61地区 地域運営組織活動支援事業交付金 実績額 27,150千円 ・公民館職員の増員配置 |
| 32 | 自治会活動活性化支援事業 | 協働推進課 | | | | | | | | | | | | | | | | 各自治会活動の活性化支援を目的に実施しています。 コミュニティ活動支援事業 ・地域コミュニティ推進事業 ・町内会加入促進事業 | 住民の自主性、主体性に基づいて町内会等が地域活動を行うことにより、市民活動のパワーアップが図られ、地域コミュニティの活性化、個性を活かしたまちづくりの推進に寄与します。 | ・168町内会 ・交付額 3,759千円 |
| 33 | 防犯灯設置事業 | 協働推進課 | | | | | | | | | | | | | | ○ | | 町内会の防犯灯設置申込により、市が防犯灯の設置を行っています。設置後の維持管理(電気代・球替え等)については町内会が行います。 | 犯罪件数の低下及び町内会の防犯意識の向上を図ります。 | 新規設置 139基 取替・修繕 551基 |
| 34 | 鳥取市地域内情報伝達設備整備事業 | 協働推進課 | | | | | | | | | | | | | | | | 地域内の情報伝達手段として情報伝達設備を整備しようとする町内会に対して、その整備に要する費用の一部を補助します。 補助対象事業 ・音声告知専用端末機器設置事業 ・有線放送設備設置事業 ・地域無線システム設置事業 | 自治会、町内会等の緊急連絡等、身近な情報の共有を可能とすることで、地域コミュニティの維持・強化を図ります。 | 対象:鳥取地域、国府地域、福部地域、河原地域、用瀬地域、佐治地域、気高地域、鹿野地域、青谷地域 ・77町内会 ・交付額:16,160,815円 |
| 35 | 地域コミュニティ除雪活動支援事業 | 協働推進課 | | | | | | | | | | | | | | | | 大雪時に町内会等が行う生活道路確保のための自主的な除雪活動を支援する。 補助率4分の3 補助上限額5万円 | 地域生活道路の確保を図る。 | 271町内会 交付額:5,573,500円 |

市民等との協働による取組事例(令和4年度実績)

| 番号 | 事業名 | 担当課 | 協働の相手方(該当するものは全て選択) | | | | | | | 具体的な名称等 | 事業の形態 | | | | | | | | 事業の概要 | 事業の効果 | 事業の実績(実績値) |
|----|---------------------|---------|---------------------|----------------|-----------|------------|-------|------------------|------------------------------|---------|-------|---------|--------|------|---------|------|-------------|--|---|--|------------|
| | | | ① 広く市民一般 | ② 市民活動団体・NPO団体 | ③ 自治会、町内会 | ④ まちづくり協議会 | ⑤ 企業等 | ⑥ 学校、PTA、保育園、幼稚園 | ⑦ その他の団体等 | | ① 共催 | ② 実行委員会 | ③ 事業協力 | ④ 後援 | ⑤ 補助・助成 | ⑥ 委託 | ⑦ 情報提供・情報交換 | ⑧ その他 | | | |
| 36 | 安全で安心なまちづくりネットワーク会議 | 協働推進課 | ○ | | | | | | 自主防犯活動団体(114団体) | | | | | | | ○ | | 鳥取警察署、智頭警察署、浜村警察署の3警察署管内毎に「安全で安心なまちづくりネットワーク会議」を開催し、自主防犯活動団体、警察署、鳥取市、鳥取市教育委員会等が相互の情報交換及び情報の共有を行うことで地域の実情を考慮しつつ、安全で安心なまちづくりを推進します。令和4年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。 ▼ 地域の実情に応じた防犯活動を行うため、自主防犯活動団体の実践内容等の情報を共有します。 ▼ 身近な地域安全活動を実施するため、警察署からの犯罪情報等を共有します。 ▼ 児童生徒の安全を確保するため、警察署・鳥取市教育委員会からの不審者情報等を共有します。 ▼ 安全で安心なまちづくりを推進するため、鳥取市・鳥取市教育委員会・警察が取り組むべき事項を検討します。 | 自主防犯活動団体、警察署、鳥取市、鳥取市教育委員会等が相互に情報交換及び情報の共有をすることにより、犯罪の発生抑制に繋がります。また、他地域における防犯活動状況を共有することにより、地域ごとの新たな防犯活動に繋がります。 | ▼ 安全安心だより…13回発行 ▼ 安全で安心なまちづくりネットワーク会議の開催…3会場(鳥取・智頭・浜村警察署管内毎) R4年度は開催なし ▼ 防犯ビデオの貸出 | |
| 37 | 安心安全まちづくり推進事業 | 協働推進課 | ○ | | | | | | 自主防犯活動団体(114団体) | | | | | | | ○ | | 町内会等で結成している自主防犯団体が実施する講習会や危険箇所の点検、防犯パトロール等に要する経費の一部を補助することで、活動団体の育成・支援を行い、地域における防犯活動の強化を図ります。 また、「防犯ベスト・キャップ」の配布により、地域の防犯活動の活性化を図ります。 | 効果的かつ継続的な防犯パトロールの実施、防犯マップの作成、防犯活動に必要な資機材の購入等にかかる費用の補助を行うことで、地域防犯活動の活性化や地域防犯力の向上に繋がるとともに、安全で安心なまちづくりができる地域づくりがより一層推進されます。 | ▼ 補助金交付…なし ▼ 防犯ベストまたは防犯キャップ支給団体…9団体 | |
| 38 | 公民館における若者のまちづくり事業 | 協働推進課 | | | | | | | 大学生、若者 | | | | | | | ○ | | 1 鳥取大学生による公民館事業への企画提案、事業実施 ① 明徳地区公民館:子どもと大人のふれあい事業 ② 湖山地区公民館:フォトコンテスト、スマホ教室 ③ 鹿野地区公民館:防災子どもデイキャンプ、魅力アップ事業 ④ 浜村地区公民館:地域と公民館をつなぐ情報発信 2 鳥取環境大学生による公民館事業への企画提案、事業実施 ① 修立地区公民館:防災・安全情報の発信・提供の仕組みづくり ② 日進地区公民館:クリスマスイルミネーション ③ 美保南地区公民館:夏休みサマースクール | 地域社会の担い手となる若者が公民館活動に参画することで、新たな発想が取り入れられ、地域の活性化や魅力の創造、地域課題の解決が推進される。また、これらの活動を通じて、若者と地域が持続的につながり、絆を深め、まちづくりに積極的に参画する人材が育成される。 | 1 鳥取大学生による公民館事業への企画提案、事業実施 ① 明徳地区公民館:子どもと大人のふれあい事業 2名 ② 湖山地区公民館:フォトコンテスト、SNSを学ぶスマホ教室 3名 ③ 浜村地区公民館:地域と公民館をつなぐ情報発信 1名 2 鳥取環境大学生による公民館事業への企画提案、事業実施 ① 修立地区公民館:防災・安全情報の発信・提供の仕組みづくり 3人 ② 日進地区公民館:クリスマスイルミネーション4人 ③ 美保南地区公民館:キッズフェスタ、文化祭の企画・運営 4人 ④ 浜村地区公民館:地域と公民館をつなぐ情報発信 1名 | |
| 39 | くらし110番相談事業 | 市民総合相談課 | ○ | | | | | | 特定非営利活動法人 市民の生活権利擁護センターうさぎの耳 | | | | | | | ○ | | 市民の日常生活における個人的な困りごとについて相談を受ける業務を委託しています。 【本庁舎】 面談・電話相談 平日 8時30分～17時15分 ● FAX、Eメールでも相談を受け付けています(回答は翌日以降の開庁日)。 | 日常生活における困りごとについて、面談及び電話等により相談をお聞きし、問題の解決方法を考えたり、解決につながる関係機関等の紹介などを行い、市民の安全な日常生活の確保に貢献しました。 | 相談件数/893件 ※ただし件数の増減により事業効果を評価するものではありません。 決算額 3,162千円 | |

市民等との協働による取組事例(令和4年度実績)

| 番号 | 事業名 | 担当課 | 協働の相手方(該当するものは全て選択) | | | | | | | 事業の形態 | | | | | | | | 事業の概要 | 事業の効果 | 事業の実績(実績値) |
|----|--------------------------|----------------|---------------------|----------------|-----------|------------|-------|---------|-----------------------------|-----------|------|---------|--------|------|---------|------|-------------|--|--|--|
| | | | ① 広く市民一般 | ② NPO団体・市民活動団体 | ③ 自治会、町内会 | ④ まちづくり協議会 | ⑤ 企業等 | ⑥ 園、PTA | ⑦ その他の団体等 | ⑧ 具体的な名称等 | ① 共催 | ② 実行委員会 | ③ 事業協力 | ④ 後援 | ⑤ 補助・助成 | ⑥ 委託 | ⑦ 情報提供・情報交換 | | | |
| 40 | 消費者教育・啓発出前講座 | 市民総合相談課 | ○ | | | | | | 鳥取市消費者団体連絡協議会 | | | | | | ○ | | | <p>・対象:市内の団体(自治会、地区社協、公民館、老人クラブ、婦人会、PTAなど)や活動の拠点が市内に限られる事業所・消費者団体など</p> <p>・内容:対象団体等からの申込みに基づき、次に掲げる講座のいずれか又はその組み合わせにより実施し、消費生活に関する情報の提供等による啓発活動を行います。 (1)消費生活センター(以下「センター」という。)の消費生活相談員その他の職員による講話、DVD上映等 (2)鳥取市消費者団体連絡協議会による消費者寸劇(委託)</p> | <p>点検商法やSF商法など悪質商法等の、消費生活に関する情報を提供することで被害の未然防止につなげ、市民の消費生活の安全及び向上を図りました。</p> | <p>出前講座件数/10件 ※ただし件数の増減により事業効果を評価するものではありません。 決算額 30千円(委託分)</p> |
| 41 | ファミリーサポートセンター(生活援助型)運営事業 | 長寿社会課 | ○ | | | | | | (社福)鳥取市社会福祉協議会に委託 | | | | | | ○ | | | <p>軽易な家事援助等を受けたい高齢者と、援助を行いたい人の双方にファミリー・サポート・センターに会員登録してもらい、簡単な家事等の援助活動の仲介を行います。</p> | <p>地域の相互扶助の取組を支援することで、地域の中で安心して暮らしていただける環境をつくります。</p> | <p>令和4年度実績 依頼会員数 494人 協力会員数 199人 活動回数 4,211回</p> |
| 42 | 認知症キャラバン・メイト連絡会 | 長寿社会課 | ○ | | | | | | 認知症キャラバン・メイト連絡会 | | | | | | ○ | | | <p>「認知症を予防するとともに認知症になっても安心して暮らせるまちづくり」の実現に向けて、認知症サポーターの養成とともに各種の啓発や予防活動及び関係機関、組織、団体等への働きかけや協力、連携体制づくり、ネットワーク化を推進します。</p> <p>○活動内容 ①「認知症サポーター」の養成 ②「認知症を予防するとともに認知症になっても安心して暮らせるまちづくり」のための啓発活動 ③認知症に関する取組への活動支援 ④具体的活動のための連絡会の開催 ⑤資質向上のための研修</p> <p>※各地域包括支援センターの圏域ごとに連絡会を設置しています。</p> | <p>1. 啓発活動 認知症サポーター養成講座や地域での啓発活動をさらに普及することで、認知症を正しく理解し、地域で支え合う住民意識の高揚を図ります。</p> <p>2. 連絡会の組織強化 ①連絡会の中で情報交換を行ったり、外部研修会への参加を行うことにより、キャラバンメイトの資質向上と意欲の醸成を図ります。 ②活動報告をまとめたり、活動発表等により、活動を振り返り、評価することができます。</p> <p>3. 連携体制 認知症に関する取組を広く行うことにより、関係機関や地域の組織等との連携強化を図ります。</p> | <p>令和4年度実績 1. 認知症キャラバン・メイト新規養成者数 3人 2. 主な活動内容 ①認知症サポーター養成講座の開催 20回 ②キャラバン・メイト代表者会の開催 1回 ③キャラバン・メイト連絡会の開催 1回</p> |
| 43 | 認知症高齢者等ご近所見守り応援事業 | 長寿社会課 | | | | | | ○ | 市民、事業者等 | | | | | | ○ | | | <p>認知症等により一人で外出することに不安のある人やトラブルに巻き込まれる心配のある人に登録していただき、認知症になっても安心して外出できる地域で見守る事業です。、事前に登録し、行方不明等の際に早期の発見・保護につなげます。 また、本人がよく立ち寄るお店や事業者等に、協力を依頼し、協力を得られる場合はステッカーをお渡しします。</p> | <p>認知症の人やその家族を市民みんなで見守る機運を高め、認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを推進します。また、認知症の人が行方不明になっても、早期に発見し、保護できる体制づくりを進めます。</p> | <p>令和4年度実績 1 事前登録の推進 50件 2 協力事業者の募集 4件</p> |
| 44 | 避難行動要支援者支援制度普及促進事業 | 地域福祉課 危機管理課 | | | | | | ○ | 自治会、民生児童委員協議会などの地域の要支援者支援団体 | | | | | | | ○ | | <p>ひとり暮らしの高齢者や障がいのある方などの要支援者が、災害時に地域の「共助」により支援を受けられる体制づくりを促進し、災害に強い安全・安心なまちづくりを目指します。</p> <p>【具体的な事業内容】 要支援者となりうる対象者の情報を、市から地域の要支援者支援団体(自治会、自主防災会、民生児童委員等)に提供し、支援団体からその対象者に対して制度への登録について直接働きかけを行っていただきます。 制度登録に対して同意が得られた場合は、災害時に必要な支援の内容など、詳細な要支援者情報を収集し、その情報を基に個別避難計画を作成して要支援者支援団体で共有し、要支援者に対する日ごろの見守りや災害発生時の支援体制を整備していただきます。</p> | <p>平成27年度において、すべての地区(61地区)で、避難行動要支援者支援制度の取組が実施されました。今後は、引き続き、要支援の対象者に対して制度への登録勧奨を行っていただき、より安全・安心な地域づくりを推進します。</p> | <p>制度登録者数 4,674人(令和4年度末) 予算額 321千円</p> |

市民等との協働による取組事例(令和4年度実績)

| 番号 | 事業名 | 担当課 | 協働の相手方(該当するものは全て選択) | | | | | | | 事業の形態 | | | | | | | | 事業の概要 | 事業の効果 | 事業の実績(実績値) |
|----|------------------------|-----------|---------------------|----------------|-----------|------------|-------|---------|---------------------------------|-----------|------|---------|--------|------|---------|------|-------------|---|--|--|
| | | | ① 広く市民一般 | ② NPO団体・市民活動団体 | ③ 自治会、町内会 | ④ まちづくり協議会 | ⑤ 企業等 | ⑥ 園、PTA | ⑦ その他の団体等 | ⑧ 具体的な名称等 | ① 共催 | ② 実行委員会 | ③ 事業協力 | ④ 後援 | ⑤ 補助・助成 | ⑥ 委託 | ⑦ 情報提供・情報交換 | | | |
| 45 | 地域の「話し愛・支え愛」推進事業費 | 地域福祉課 | | | | | | | 鳥取市社会福祉協議会 | | | | | | | | | 地域住民が身近な福祉課題に気づき、支え合いなどの福祉活動の活性化を図るため、地域における福祉の「話し合い」、「支え合い」、「学び」の場づくりを鳥取市社会福祉協議会と協働で推進する。 また、地域のサロン等から潜在的な課題を抱えている者の情報を集め、その者とのつながりを作りながら適切な支援機関へつなぐとともに、既存の社会参加に向けた支援では対応ができない者について地域の社会資源などを活用した社会とのつながり作りに向けた支援を鳥取市社会福祉協議会との協働で行う。 | 地域住民が身近な福祉課題に気づき、「話し合い」、「支え合い」、「学び」の場を活用した、支え合いなどの福祉活動の活性化が進みます。 潜在的な課題を抱えている者が支援機関へつながるとともに、既存の社会参加に向けた支援では対応ができない者について適切な社会とのつながり作りが進みます。 | (場づくり)2地区をモデル実施(支援)全地区で実施 予算額 25,819千円 |
| 46 | 保育園庭芝生化事業 | こども家庭課 | | ○ | | | | | 保育園保護者会等 | | | | | | | | ○ | 子どもの体力の低下、情緒の不安定が社会問題化するなか、子どもたちが裸足で思いきり遊べる場所、周辺環境にやさしい癒しの空間を創造することにより、児童の屋外活動を促進し、基礎体力の向上、情操の安定に資することを目的としています。 鳥取市内のNPO法人グリーンスポーツ鳥取の技術協力により、「協働方式」による園庭の芝生化を実施した園において芝生の養生作業を行います。保育園等後援会が実施主体となり、保護者が作業を負担、市が事業費を補助、NPOが技術指導を行い、三者協働により低コストで快適な保育環境を整備します。 | 冬芝の播種、また肥料散布による養生を行うことで芝の状態を良好に保ち、転倒によるケガの減少、児童の外遊びが盛んになるなどの効果があります。また、親子で作業することによる交流や家庭での会話が増える等、子どもの情操への好影響も期待できます。 | 実施園 19園 |
| 47 | ファミリーサポートセンター(育児型)運営事業 | こども家庭課 | ○ | | | | | | (社福)鳥取市社会福祉協議会 | | | | | | | | ○ | ファミリーサポートセンターに登録した人が、子どもの預かりなど育児の手助けがほしい時にセンターに依頼し、育児の手助けをしたい人を紹介してもらい、地域の中で子育てについて助け合うとともに仕事の両立を応援します。 ・保育園・幼稚園までの送迎や預かり・放課後・学童保育施設までの送迎や預かり・保護者の病気や休養、冠婚葬祭時の預かり等に利用しています。 | 育児の援助をする会員(提供会員)と育児の援助を受けたい会員(依頼会員)が相互に援助活動を行うことにより、仕事と家庭を両立し安心して働くことができる環境をつくります。 | 提供会員:96人 依頼会員:914人 両会員:18人 活動件数:665件 |
| 48 | 健康づくり地区推進員健康づくり事業 | 健康・子育て推進課 | | | ○ | | | | 健康づくり地区推進員981人(健康づくり地区推進員連絡協議会) | | | | | | | | ○ | 地域を中心に、市民の健康づくり事業を推進している。 1 協議会としては、三役会・常任理事会・理事会を年に各3～5回開催し、事業の内容や推進について協議。また、資質向上のための研修会等を開催し、自己研鑽している。 2 地域では、各町内に1人以上の推進員を配置。研修会・健康講演会、健康相談、健康ウォーク、集団検診の受診啓発等を実施し、地域の健康づくり活動のリーダーとして、市民の健康づくりを推進している。 | 各町内会(区)より推薦された推進員と共に活動するため、住民に身近な地域(地区、町内会単位)での細やかな健康づくり活動が実施できます。 | ①検診受診率の向上の取り組み:各地区で声かけ等の啓発活動、検診受診勧奨のポスターの掲示 ②運動の推進:ウォーキングマップの作成、地域での健康ウォーク実施 ③タバコ・アルコール対策:健康づくり推進員を対象にアンケート調査を実施 ④健康講演会、研修会の実施 決算額:5,703千円 |
| 49 | しゃんしゃん体操普及事業 | 健康・子育て推進課 | | | | | | | しゃんしゃん体操普及員(しゃんしゃん体操普及員連絡会) | | | | | | | | ○ | 健康寿命の延伸を図り、元気で活動的な高齢者を増やすため、介護予防と地域のふれあいを目的に平成18年度に「しゃんしゃん体操」を作成した。体操普及のため「しゃんしゃん体操普及員」を育成して、地域の中で普及に取り組んでいます。 また、普及員の技術向上や、普及員同士の交流を深める等の目的で普及員連絡会やスキルアップの研修を行います。 さらに平成21年度には、体操継続者のステップアップや若い世代の方にも親んでもらうこと等をねらいとして、しゃんしゃん第2体操、お口元気体操、しゃんしゃんウォーク、しゃんしゃんストレッチを作成。平成27年度には、認知症予防体操として「しゃんしゃんヨガ」を考案し、DVD等も活用しながら普及・啓発に努めています。 | 従来の身体機能の維持・向上を目的とした「しゃんしゃん体操」とともに、認知症予防体操「しゃんしゃんヨガ」を合わせて実施することで、高齢者が地域の身近な場所で楽しく認知症予防に取り組む、生涯にわたる心身の健康の保持・増進につながる。 | しゃんしゃん体操 ・単発実施:160回、参加者:4,500人 ・継続実施:80箇所、参加延人員:28,000人 決算額:561千円 |

市民等との協働による取組事例(令和4年度実績)

| 番号 | 事業名 | 担当課 | 協働の相手方(該当するものは全て選択) | | | | | | | 事業の形態 | | | | | | | | 事業の概要 | 事業の効果 | 事業の実績(実績値) |
|----|------------------|-------------|---------------------|----------------|-----------|------------|-------|------------------|-----------|-----------|------|---------|--------|------|---------|------|-------------|---|---|--|
| | | | ① 広く市民一般 | ② NPO団体・市民活動団体 | ③ 自治会、町内会 | ④ まちづくり協議会 | ⑤ 企業等 | ⑥ 学校、保育園、幼稚園、PTA | ⑦ その他の団体等 | ⑧ 具体的な名称等 | ① 共催 | ② 実行委員会 | ③ 事業協力 | ④ 後援 | ⑤ 補助・助成 | ⑥ 委託 | ⑦ 情報提供・情報交換 | | | |
| 50 | ブックスタート事業 | 健康・子育て推進課 | ○ | | | | | | | | | | | | | | | 保健所等が実施する6か月健康診査を受ける親子に対して、ボランティアと図書館司書が手遊びと絵本の読み聞かせを行っています。赤ちゃんは、保護者に抱っこされ、ゆっくりとことばを語りかけられる時間を通して、安心感や親の愛情を感じながら「心がふれあう時間を親子で家庭でも過ごしてほしい」ということを伝え、「ブックスタートバック」を手渡しています。また、図書館で開催される読み聞かせ会も紹介しています。(6か月健康診査未受診者へは、保健師が家庭訪問等で「ブックスタートバック」を手渡す) 「ブックスタートバック」の絵本の選定や実施方法、ボランティアの資質向上のための研修、市民への啓発等について3者が協働して行っています。 | 6か月の全ての赤ちゃんが対象である健診で読み聞かせの楽しさや、絵本の楽しさを体験してもらうことができます。また、選書や赤ちゃんへの読み聞かせ方など、図書の専門家から具体的なアドバイスにも応じています。読み聞かせボランティアの支援により、この事業が支えられ、赤ちゃんと保護者にあたたかい時間を感じてもらい、それぞれが得意分野の能力を発揮して取り組むことで、効率的で効果的な事業展開ができます。 | 6か月健康診査実施予定回数 中央:年36回 東保健センター:年12回 西ブロック(鹿野・気高・青谷):年6回 南ブロック(河原・用瀬・佐治):年6回 読み聞かせボランティア実施予定延べ人数・約217人 読み聞かせ実施予定人数・約1,300人 ブックスタートバック配布予定数・約1,300人 予算額:2,354千円 |
| 51 | 子育て支援を考える会との協働事業 | 健康・子育て推進課 | | | | | | | ○ | | | | | | | | | 鳥取市子育て支援ネットワーク 平成23年度より地域で子育て支援をしている人たちが集まり、子育て支援を考える会を結成し、「親子が健やかに安心して子育てできるまち」を実現するために意見交換を行っています。 平成26年度に、地域での子育て支援の団体を知ってもらうこと、支援者通しのつながりを深めることを目的として「子育てフェスタ」を開催しました。 平成27年度より「鳥取市子育て支援ネットワーク」に名称を変更し、地域の子育て支援の情報交換や支援者の資質向上のための交流会や研修会を実施しています。 子育て支援活動の一環として、平成28年度に中央保健センター、平成30年度に鳥取東健康福祉センターの1歳6か月児健診へのボランティアを開始しました。 また、平成29年度より、産後サロンにもボランティアとして協力しています。 | 地域で子育て支援をしている団体相互が意見交換することで、これからの子育て支援を考え、活動の推進を図ります。 また、支援者研修会では、支援者の資質の向上と地域での活動の活力にもつながっています。 これらにより、各団体との連携を図り、親子が健やかに安心して子育てができるまちの実現が期待されます。 | ○全体会 年2回 ○役員会 年2回 ○子育て支援者研修会 年1回 ○健診ボランティア 中央:36回 東:10回 ○ひだまりサロン(産後サロン) 中央:年12回 |
| 52 | 食育推進委員会による食育推進事業 | 健康・子育て推進課 | | | | | | | | | | | | ○ | | | | 鳥取市食育推進委員会 生涯を通じて元気に過ごすことができるよう、生活習慣病予防に最も重要である「食生活」を重点に、確かな知識を地域で広く、継続して普及し、疾病予防、健康づくりにつなげることを目的に活動。①伝達講習会等の開催②「第3次鳥取市食育推進計画」および「とっとり市民元気プラン2021」に基づく食育推進事業の開催③市が行う食育推進に関する協力 | 市栄養士から高血圧予防をはじめ、市の健康課題の改善を重点とした研修を受講した推進員は、その履修内容を各地区で「伝達講習会」として開催することで、広域にわたる推進、啓発が継続して可能となり、市民への健康的な食生活の定着につなげることができる。 | ・会員数:415人 ・市報「食」コーナー掲載 6回 ・CATV「食育らくらくクッキング」放映 ・学童向けレシピ集の配布 ・伝達講習会(産後サロン)開催 84回 ・予算額:3,200千円 |
| 53 | 地域猫等活動支援事業 | 生活安全課 | | | | | | | | | | | | | | ○ | | 飼い主のいない猫の頭数が多く、既存の不妊・去勢手術助成事業では対応が困難なケースについて、鳥取市地域猫活動頭数において、本市が不妊・去勢手術を実施した後、各地域に設置された団体が、餌及びトイレなどの管理を適正に行い、地域の生活環境の支障の軽減に繋げる。 | 野良猫を不妊・去勢手術し、地域で適正に管理することで、猫による「糞尿被害」など各地で発生している衛生環境の問題解決が図られる。 | 野良猫不妊・去勢手術頭数 250頭/可能 【実績】・・・45頭 |
| 54 | 地産地消フェア | 経済・雇用戦略課 | | | | | | | | | | | | | | | | 鳥取市地産地消推進協議会 地元で生産されたものを地元で消費する地産地消への理解を深めるため、フェアを開催します。 実施日 令和4年12月～1月 | 地元の農林水産物や地元で生産された製品等を市民一人ひとりが認識するとともに、生産者と消費者の繋がりをより深めることができます。 | 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、地産地消フェアを中止とし、代替として地元産品が当たるプレゼントクイズを実施。応募者781名 |
| 55 | 観光ボランティアガイド活性化事業 | 観光・ジオパーク推進課 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | ○ | ○ | 市民 (一社)鳥取市観光コンベンション協会への委託事業として、観光客をあたかく迎えるため、観光客のニーズにあった解説のできるガイド養成やガイド事業の実施等を行い、訪れただけでは知ることのできない鳥取市の文化や魅力を深く理解してもらい、観光客のリピーターの増加につなげるとともに、市民自らが観光客をもてなす意識を高めます。 | 多くの市民が観光ガイド養成講座に参加し、市民が観光客をもてなす機運の醸成に努めます。 | 令和4年度事業実績 観光ガイド利用客数 4,197人 |

市民等との協働による取組事例(令和4年度実績)

| 番号 | 事業名 | 担当課 | 協働の相手方(該当するものは全て選択) | | | | | | | 具体的な名称等 | 事業の形態 | | | | | | | | 事業の概要 | 事業の効果 | 事業の実績(実績値) |
|----|---------------------|-------------|---------------------|---------|-----------|------------|-------|---------|--------------------|---------|-------|---------|--------|------|---------|------|-------------|---|--|--|------------|
| | | | ① 広く市民一般 | ② NPO団体 | ③ 自治会、町内会 | ④ まちづくり協議会 | ⑤ 企業等 | ⑥ 園、PTA | ⑦ その他の団体等 | | ① 共催 | ② 実行委員会 | ③ 事業協力 | ④ 後援 | ⑤ 補助・助成 | ⑥ 委託 | ⑦ 情報提供・情報交換 | ⑧ その他 | | | |
| 56 | 観光施設整備事業 | 観光・ジオパーク推進課 | ○ | | ○ | ○ | ○ | | 市民・団体 | | | | | | | | | 鳥取市が管理する観光地のトイレ清掃の一部について、地元の個人、団体等に業務委託し、観光客に、気持ちよく観光施設を使用していただくよう、環境の整備に努めるとともに、地元の観光地を取り巻く環境の美化への意識醸成を図ります。 | 地元の方に清掃・除草業務を委託することにより、地元の施設への愛着を深めていただくとともに、地元の方も一体となって美しい環境の中で観光客をもてなす雰囲気を醸成します。 | 令和4年度実績 実施箇所 7箇所 実施団体 7団体 | |
| 57 | 鳥取砂丘除草ボランティア | 観光・ジオパーク推進課 | ○ | | | | ○ | | 市民、企業・団体 | | | | | | | | | 近年、鳥取砂丘では外来の雑草等が繁茂し、砂の移動が抑制され美しい風紋等が減少してきたことから、平成16年度よりボランティア除草活動を実施しています。 今年度も、除草の目的である本来の「砂の動く生きた砂丘」の復活を目指すため、雑草等が種子を散布する初秋の頃までに実施することとしています。 | 毎年、除草を実施することにより、自然が造り上げた貴重な財産を守り、次世代へ引き継ぎます。 近年は、企業・団体単位で一定の区域を受け持つアダプトプログラムによる除草活動が積極的に行われるようになり、鳥取砂丘をみんなの手で守ろうという機運が盛り上がる、などの効果が期待されます。 | 令和4年度実績 参加者数:2,372人 | |
| 58 | 鳥取砂のルネッサンス | 観光・ジオパーク推進課 | ○ | | | | | ○ | 市民、企業・団体 | ○ | ○ | ○ | | | | | | 砂像は国内でも多くのイベントが開催され、芸術やアートとしての認知も深まりつつあります。 学生限定の砂像グランプリや、小学生以下の子どもを対象とした巨大砂場を使ったワークショップなど、民間を中心とした実行委員会の取組を支援し、担い手の発掘・育成や市民の砂像文化の醸成を図ります。 | 市民レベルで砂像や砂に係るイベントに取り組むことで、市民の砂像文化の醸成と地域経済の活性化を図ります。 | 令和4年度実績 ・鳥取砂まつりin賀露(10月開催) ・砂あそび共育支援「すなばようえん」(10月～11月開催) ・砂場保育研修会(11月開催) | |
| 59 | みんなで取り組む農山村保全活動支援事業 | 農村整備課 | | | ○ | ○ | ○ | | 農山村集落、地区公民館、企業・団体等 | | | | | | | | | 企業等及び市街地の地区公民館等と連携し、農地や農業用水路などの地域資源の保全活動を行いながら、農産物の生産や加工品づくりなどにも取り組み、農業・農村の活性化につなげている中山間地域の農山村集落に対して支援を行う。 ◎共生の里推進加速化事業(5年間) 中山間地域の農山村集落等と企業・団体が協働して活動を行う。 ◎むら・まち支え合い共生促進事業(3年間) 中山間地域の農山村集落等と市街地の地区公民館等が協働して活動を行う。 | 交流活動を通じて農業・農村の保全意識を高め、新たな活動により自立的な農業を行おうと意欲的に取り組む集落について、地域貢献に前向きな企業や自治会等との協働による低コストかつ持続可能な農業・農村の活性化を目指し、新たな地域ブランド等を創出することで地域振興を図る。 | ◎共生の里推進加速化事業 事業実施件数 2件 ・国府町楠城地区-鳥取瓦斯 ・気高町殿地区-明治安田生命 | |
| 60 | 女性の森グループ活動支援事業 | 林務水産課 | ○ | | | | | | 鳥取市女性の森グループ | | | | | | | | | 森林の持つ多面的機能の啓発等を行う女性団体の活動に必要な補助金を交付し、林業の振興を図ります。 | 森林の保護、育成活動、森林に関する学習を通じて森林の保護に対する意識を醸成します。 | 1団体 ・森林教室実施 1回 ・植林実施 1回 ・その他林業関係事業へ参加(とっとり出合いの森除草作業、伏野海岸の整備、緑の羽根募金活動の実施) 決算額:100千円 | |
| 61 | 住民参画型バス停上屋整備事業 | 交通政策課 | | | ○ | ○ | | | 町内会(自治会)又は地区会 | | | | | | | | | 地元が整備するバス停上屋に対する事業費の一部を補助します。 負担割合 地元1/3、市2/3(上限100万円) | 地域の住民が主体となってバス停上屋整備の計画から管理まで実施することにより、地域の実情にあったバス停上屋を整備することができ、地域福祉の向上及び公共交通の利用促進に効果があります。 | 事業実施件数 1件 | |
| 62 | 地域主体型生活交通確保支援事業 | 交通政策課 | ○ | | ○ | | | | NPO法人等 | | | | | | | | | 地域の実情に合った生活交通を確保していくために、NPOやまちづくり協議会などが取り組む「交通空白地有償運送」を支援します。 補助対象経費:交通空白地有償運送に係る経費補助率10/10 ①導入経費(試験運行経費、住民意識調査費等) ②運行経費(人件費、燃料代、保険代等) ③車両購入経費(上限:450万円) | 地域の実情に合った効率的で持続可能な移動手段が確保されます。また、市民自らが事業主体となることで地域への愛着が高まり、利用の喚起が期待されます。 | 事業実施件数 7件 | |

市民等との協働による取組事例(令和4年度実績)

| 番号 | 事業名 | 担当課 | 協働の相手方(該当するものは全て選択) | | | | | | | 事業の形態 | | | | | | | | 事業の概要 | 事業の効果 | 事業の実績(実績値) |
|----|-----------------|--------------|---------------------|-------------|-----------|------------|-------|---------|-----------|----------------|------|---------|--------|------|---------|------|-------------|---|--|--|
| | | | ① 広く市民一般 | ② NPO市民活動団体 | ③ 自治会、町内会 | ④ まちづくり協議会 | ⑤ 企業等 | ⑥ 園、PTA | ⑦ その他の団体等 | 具体的な名称等 | ① 共催 | ② 実行委員会 | ③ 事業協力 | ④ 後援 | ⑤ 補助・助成 | ⑥ 委託 | ⑦ 情報提供・情報交換 | | | |
| 72 | 鳥取市道路アダプト制度 | 道路課 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | ○ | | | 鳥取市が管理する市道等で美化及び清掃活動を通して身近な道路及び地域への愛着心を育み、市民及び企業と行政が協働して快適で美しい道路環境づくりを図ることを目的とした制度で、認定団体と鳥取市が合意書を取り交わして、道路の美化活動等を行う団体に対し、物品、用具など必要な支援を行います。 | 市民ボランティアと行政が相互に協力して保全や美化などの道路愛護活動を行うことで、安全・安心・快適な道路環境づくりに繋がります。 | 活動件数 25件 (R4年度道路アダプト登録数の4割) |
| 73 | 鳥取市廃棄物不法投棄監視員制度 | 廃棄物対策課 | | | ○ | | | | | 自治連合会 | | | | | | ○ | | 廃棄物の不法投棄による不適正処理は、生活環境に与える影響が大きくなっています。本市でも啓発、看板・監視カメラの設置、パトロールなどの対策を講じていますが、依然としてなくならない現状です。 この現状に対応するため、平成17年10月より鳥取市自治連合会の協力を得ながら18地区を選定、各地区5名程度の不法投棄監視員を任命したのをスタートに活動を開始し、現在は市内全地区で任命がなされています。不法投棄監視員は、自らが所属する地区をパトロールし、状況を市へ報告、不法投棄の早期発見と抑制に努めることを目的としています。パトロールの際は専用の帽子を着用するとともに、監視員証を携帯し、地域住民への意識啓発も行っています。 | 不法投棄の監視等を行うことにより、市内における廃棄物の不法投棄を未然に防止するとともに、不法投棄を早期に発見して当該廃棄物の適切な措置を講じることができます。 市民が監視することにより、自分たちの住むまちの環境を自分たちが守るという意識が生まれます。 | 全市パトロール回数 5,183回/年 不法投棄監視員のパトロール回数の増加を目標とし、不法投棄の監視、および予防を強化します。 |
| 74 | 湖山池アダプトプログラム | 生活環境課 | ○ | | | | | ○ | ○ | 市民、企業・団体事業所、大学 | | | | | | ○ | | 湖山池周辺護岸の一定区画を市民団体や地元企業に割り当て、その割り当てられた一定区画の清掃や環境保全活動を2回/年以上実施します。 | 湖山池の環境保全意識の醸成を図るとともに、ごみのないきれいな湖山池をめざすことができます。 | ・新規登録加盟1団体 ・登録団体による一斉清掃を2回実施。 |
| 75 | 環境教育・啓発活動業務 | 生活環境課 | ○ | ○ | | | | | | 市民、市民団体 | | | | | | ○ | | 鳥取市主催の環境に関する市民向け講座や研修等のイベント開催・企画を市民団体へ委託します。 | 鳥取市の未来を担う若い世代の環境に関する理解を促進し、児童及び家庭向け環境教育の充実を図ります。 | ・年間5回のワークショップの実施 ・参加人数:69名(内訳:第1回16名、第2回24名、第3回12名、第4回4名、第5回13名) |
| 76 | 国府地域活性化推進事業 | 国府町総合支所地域振興課 | | | ○ | ○ | | | ○ | 地元自治会他各種団体 | | | | | | ○ | | 「国府地域振興プラン」、「鳥取市国府町協働のまちづくり推進計画」及び「新市域振興ビジョン」に基づき、国府地域の活性化と振興のために実施する次の事業に取り組む団体等に対して支援を行います。 【地域振興のテーマ：「公衆道徳を守り、安心して暮らせる、美しい郷土を築きましょう」】 ①袋川清掃事業 ②花づくりと緑化推進事業 ③協働活動支援事業 ④地域観光資源活用推進事業 | 活気あふれる地域の実現に向かい、次世代へ引き継がれるよう地域住民と行政が連携しながら一体となって地域振興に取り組み、安全に安心して暮らせる住みたい町・住んで良かったといわれるまち「万葉のふるさと国府」を目指します。 | ・決算額 486千円 ・袋川清掃事業 ・花づくりと緑化推進事業 17団体助成予定 ・協働活動支援事業 ・地域観光資源活用推進事業 フォトコンテスト等を実施 扇ノ山秋のトレッキング |

市民等との協働による取組事例(令和4年度実績)

| 番号 | 事業名 | 担当課 | 協働の相手方(該当するものは全て選択) | | | | | | | 事業の形態 | | | | | | | | 事業の概要 | 事業の効果 | 事業の実績(実績値) | | |
|----|-------------|--------------|---------------------|----------------|-----------|------------|-------|---------|-----------|-----------|------|---------|--------|------|---------|------|-------------|-------|--|--|---|--|
| | | | ① 広く市民一般 | ② NPO団体・市民活動団体 | ③ 自治会、町内会 | ④ まちづくり協議会 | ⑤ 企業等 | ⑥ 園、PTA | ⑦ その他の団体等 | ⑧ 具体的な名称等 | ① 共催 | ② 実行委員会 | ③ 事業協力 | ④ 後援 | ⑤ 補助・助成 | ⑥ 委託 | ⑦ 情報提供・情報交換 | | | | ⑧ その他 | |
| 77 | 万葉フェスティバル | 国府町総合支所地域振興課 | | | ○ | ○ | | | | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | <p>国府地域では、大伴家持が因幡国守として万葉集最後を飾る歌を国府の地で詠んだことにちなみ、「万葉のふるさと」としてまちづくりを進めてきました。</p> <p>「大伴家持大賞」は平成6年度から、また、「万葉集朗唱の会」は平成10年度から開催されており、県内外から多数の参加者を得て、万葉集に対して親しみや理解を深める機会として定着しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・短歌募集 ・万葉衣装に身を包み、大伴家持が詠んだ470余首からの朗唱(1~3首) ・曲水の宴(曲水に盃を浮かべ詩歌を詠む歌遊び) ・万葉茶席、万葉食コーナー、地産地消コーナーなど | <p>参加者層は、保育園児から小・中学生、各種団体や万葉愛好家のサークル等、また県内外から幅広い参加を得て、恒例のイベントとして定着しています。</p> <p>また、短歌の応募は全国各地、さらに海外からもあります。</p> <p>このイベントを通じて「万葉のまち鳥取市国府町」を全国に情報発信することができます。</p> <p>また、このイベントは、地域住民が組織する実行委員会により実施されており、協働による「万葉のまちづくり」が実践されています。</p> | <p>決算額</p> <p>大伴家持大賞 3,300千円 万葉集朗唱の会 1,240千円</p> <p>万葉集朗唱の会については、新型コロナウイルス感染症防止のため、曲水の宴や万葉茶席、万葉食コーナーは設けず、朗唱時の人数に制限を加えるなど工夫して開催。来場者550名</p> |
| 78 | こくふまつり | 国府町総合支所地域振興課 | | | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | ○ | <p>国府地域に伝わる文化を中心とした活動の成果を発表する機会を提供することにより、地域の交流及び文化活動の活性化を図るとともに地域(国府)文化の活性化を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オープニングセレモニー(中学校吹奏楽部) ・芸能発表会 ・地域特産物等各種グループによるバザー ・こどもまつり ・こくふ映画会 ・各種展示(各地区公民館において開催) | <p>国府地域の各地区で取り組んでいる日頃の文化活動の成果を発表する機会であり、また、こどもまつりは例年多数の親子連れの参加者があり、賑やかな交流の場の提供となっています。</p> | <p>決算額 464千円</p> <p>新型コロナウイルス感染症防止のため、従来の形式を縮小して各種展示(各地区公民館において開催。参加者900名)</p> | |
| 79 | 棚田保全応援隊 | 国府町総合支所産業建設課 | ○ | | | | | | | | | | | | | | | ○ | <p>鳥取市国府町上地地区は、扇ノ山(1,310m)の中腹、標高約600mの集落で、小さな棚田約50枚(約20ha)が折り重なるように広がり、自然と人の手により独特の景観を造り出しています。上地地区には、江戸時代末期に先人が苦勞して完成させた「京ヶ原水路(全長約4km)」と呼ばれる歴史的な土地改良施設があり、以前は30軒あった農家が水路の維持管理を行っていましたが、現在では3軒まで減少し水路の泥や石、倒木などを取り除く維持管理が困難となりました。</p> <p>この問題を解決するため、まちとむらの交流事業の一つとして、平成12年から一般ボランティアや大学生、学生人材バンク等を中心に参加者を募り、協働して水路の保全活動を行っています。</p> | <p>農業灌漑用水路の清掃作業等の農作業体験と交流会を通じて、都市住民と地域住民の協働により地域活性化が図られています。</p> | <p>・事業内容 新型コロナ拡大防止のため広報によるボランティア募集は中止。地元と自主的参加者のみの事業とする。</p> <p>●4月(水路清掃)実施</p> <p>・棚田保全活動 終了後、山菜おこわを配布</p> <p>・参加費 無料</p> <p>・マイクロバス送迎ー新型コロナ拡大防止対策のため運行中止</p> <p>・参加者 4月29日:50人</p> | |
| 80 | 町内一斉清掃 | 福部町総合支所地域振興課 | | | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | ○ | <p>福部町内の集落単位で実施するボランティア一斉清掃です。</p> <p>・実施日 令和4年5月~10月の間(各集落1~2回程度)</p> <p>・清掃内容 各集落道路周辺、河川敷等の草刈り作業</p> | <p>福部町の集落を対象としたボランティア一斉清掃を年1~2回実施することで、郷土の環境の保全と環境美化の意識の向上を図ります。</p> | <p>補助予算額 0千円 参加自治会数 21集落</p> | |
| 81 | 福部地域活性化推進事業 | 福部町総合支所産業建設課 | ○ | | | | | | | | | | | | | | | ○ | <p>若手らっきょう生産者が中心となって活動している「未来へつなぐらっきょう将来ビジョン研究会」では、福部町特産であるらっきょうの県内外での宣伝販売及び市内小学生へのPR等、様々な活動を通して、産地の維持発展及び後継者育成を図り、これにかかる経費などの支援をしていきます。</p> | <p>福部町特産の「らっきょう」のPR等を通して、産地の維持発展及び後継者育成を図るとともに地域の活性化も図ります。</p> | <p>実績額 20,964円</p> <p>・「未来へつなぐらっきょう将来ビジョン研究会」の活動を支援。</p> | |
| 82 | 青色パトロール事業 | 河原町総合支所地域振興課 | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | <p>「自分たちの町は自分たちで守る」を合言葉に、不審者を寄せつけず、事件を未然に防ぐために青パトにより自主パトロールを行います。</p> | <p>小中学校の下校時間に実施することにより、地域住民に安心感を与え防犯意識が高まります。</p> | <p>開催日 年間100日 午後3時半から約30分実施 参加者 200人 決算額 0円</p> | |

市民等との協働による取組事例(令和4年度実績)

| 番号 | 事業名 | 担当課 | 協働の相手方(該当するものは全て選択) | | | | | | | 事業の形態 | | | | | | | | 事業の概要 | 事業の効果 | 事業の実績(実績値) |
|----|-----------------|--------------|---------------------|--------------------|------------------|-------------------|----------|------------|------------------|-------------|---------|----------------|---------------|---------|----------------|---------|------------------------|---|---|--|
| | | | ① 広く市民一般 | ② NPO 市民活動団体 | ③ 自治会、 町内会 | ④ まちづくり 協議会 | ⑤ 企業等 | ⑥ 園、PTA | ⑦ その他の 団体等 | 具体的な 名称等 | ① 共催 | ② 実行委員 会 | ③ 事業協 力 | ④ 後援 | ⑤ 補助・助 成 | ⑥ 委託 | ⑦ 情報提 供・情 報交換 | | | |
| 83 | かわはらまちづくりクリーン作戦 | 河原町総合支所地域振興課 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | 朝7時から1時間程度千代川河川敷約1kmをボランティアによる清掃作業を実施し、心地よい汗を流します。 | 河川敷を清掃することにより、参加者の環境意識が高まります。 | 開催日 7/24 参加者 約100人 参加団体 10団体 決算額 9千円 |
| 84 | 環境美化活動 | 河原町総合支所地域振興課 | | | | | | ○ | | ○ | | | | | | | | 地域の環境美化に努めることで子どもたちの健全育成にもつながり、地域が一体となって清掃活動に取り組むことで環境意識の高揚につながります。 | 総合支所前市道は小中学生の通学路になっており、環境美化に努めることで子どもたちの健全育成にもつながり、地域が一体となって清掃活動に取り組むことで環境意識の高揚につながります。 | 市道の清掃作業(総合支所前 延長70m) 参加者:市職員・社会福祉協議会職員・小学校・シルバー延べ50人 実施時期:毎月(冬季以外) 決算額 0円 |
| 85 | 町民音楽祭開催費事業 | 教育委員会 用瀬町分室 | ○ | | | | | | | ○ | ○ | | ○ | | | | | 用瀬地域のコーラスグループ等が参加し、童謡・唱歌を歌いひな祭りを祝います。 | 桃の節句の3月3日に流しびなの館に置いて、出演者と来場者が一体になって童謡や唱歌を楽しみたい、日本の伝統的な心を深く感じ、ひなまつり行事の継承と文化振興を図ります。 | 新型コロナウイルス感染拡大防止のため規模を縮小し開催。 開催日 令和5年3月3日(金) 場所 流しびなの館 予算額 62千円 |
| 86 | ジゲおこし事業 | 用瀬町総合支所地域振興課 | ○ | | | | | | | ○ | ○ | | ○ | | | | | 流しびなの里もちがせの地域活性化を目的に、用瀬の特色を生かしたイベントとして、ふれあいフェスティバル、川遊びフェスティバル等を開催します。地域住民のボランティアで構成する用瀬町ジゲおこし事業実行委員会に対する活動を補助します。 | 地域住民のボランティアで構成する用瀬町ジゲおこし事業実行委員会が主体的に活動することにより、地域の一体感を醸成し、また、地域イベントとして町内外から多数の参加者を得て、盛大に開催されます。 | 用瀬山系トレイル交流大会 開催日 令和4年 7月23日(土) 11月 6日(日) 夏の川遊びフェスティバル 開催日 令和4年 7月23日(土) 8月28日(日) ふれあいフェスティバル 開催中止 いなば用瀬宿横丁さんぽ市 開催日 令和4年11月13日(日) 実績額 430千円 |
| 87 | もちがせふれあいまつり | 教育委員会 用瀬町分室 | ○ | | | | | | | ○ | | | ○ | | | | | 生涯学習に係る一年間の学習活動の発表の場として、また、行政の持つ学習情報、生活情報についても広く提供します。これらを総合的に実施することで、一人ひとりの学習意欲を高め、学習活動への参加を促し、生涯学習の一層の振興を図ります。 | 生涯学習に取り組む人たちが自らの作品発表の場作りに参加することにより事業の参画意識の高揚を図ります。 | 新型コロナウイルス感染拡大防止のため規模を縮小し開催。 開催日 令和4年10月23日(日) 場所 用瀬町勤労者体育センター他 予算額 289千円 |
| 88 | 流しびなマラニック大会補助事業 | 教育委員会 用瀬町分室 | ○ | ○ | | | | ○ | ○ | | | | ○ | | | | | 大会に参加することを契機に、市民の健康づくりと親睦を図ることを目的としています。 走るコースは10km、5km、3km、ウォークは3kmを設定しており、自分の体力に合わせて参加することができます。 大会開催に対し運営に必要な経費を支援します。 | 流しびなの里もちがせを広く全国的にPRし、地域活性化を図ります。 また、ランナーとして参加することで健康意識の向上、また、ボランティアとして参加することでおもてなし意識の醸成等の誘因となり、スポーツ文化の振興に期待できます。 | 開催日 令和4年5月15日(日) 場所 流しびなの館周辺 予算額 2000千円 H30実績 参加者1,356人 R元実績 参加者1,185人 R2実績 参加者-人(開催中止のため) R3実績 参加者-人(開催中止のため) R4実績 参加者145人(規模縮小) |

市民等との協働による取組事例(令和4年度実績)

| 番号 | 事業名 | 担当課 | 協働の相手方(該当するものは全て選択) | | | | | | | 事業の形態 | | | | | | | | 事業の概要 | 事業の効果 | 事業の実績(実績値) |
|----|-----------------------------|--------------|---------------------|----------------|------------------|-------------------|----------|------------|------------------|------------------|---------|----------------|-----------|---------|----------------|---------|--|---|--|------------|
| | | | ① 広く市民一般 | ② NPO 団体 | ③ 自治会、 町内会 | ④ まちづくり 協議会 | ⑤ 企業等 | ⑥ 園、PTA | ⑦ その他の 団体等 | ⑧ 具体的な 名称等 | ① 共催 | ② 実行委員 会 | ③ 事業協力 | ④ 後援 | ⑤ 補助・助 成 | ⑥ 委託 | ⑦ 情報提供・ 情報交換 | | | |
| 89 | 用瀬町観光資源育成事業 | 用瀬町総合支所産業建設課 | | | ○ | ○ | | | ○ | | | | | ○ | | | (1) 三角山神社参道と周辺の清掃・整備活動【用瀬地区まちづくり協議会】 ・除草、清掃、整備 (2) 一の谷公園周辺除草【用瀬1区自治会】 ・ミツバツツジ群生の保護育成のため、一の谷公園と散策道の除草、雑木除伐等 (3) ふれあいの水辺の景観保全【用瀬2区二葉会】 ・ふれあいの水辺周辺の除草、清掃 (4) 景石城跡の保全【用瀬4区景和会】 ・影石城跡周辺と散策道の除草、景観保護 (5) 愛宕山周辺除草【用瀬5区自治会】 ・ミツバツツジ群生の保護育成のため愛宕山周辺と散策道の除草、雑木除伐等 (6) 板井原溪谷のおう穴群保全【旭丘部落】 ・赤波川板井原溪谷のおう穴群周辺の除草、清掃 (7) 中津美溪谷の景観保全【屋住部落】 ・安蔵川支流中津美溪谷の不動滝周辺の除草、散策道の整備及び維持管理 (8) 犬山神社社叢保全 ・犬山神社社叢のスタジイ原生林周辺の除草、清掃 | 用瀬に古くからあり、観光資源でもある名勝、旧跡などの景観保全、維持管理を地元自治会及び団体に委託したことにより、観光資源周辺的美観が増進し、地元住民の観光資源育成、保全に対する意識の高揚を図る。 | (1) 参加者:15人 作業面積:3km (2) 参加者:22人 作業面積:1,200㎡ (3) 参加者:14人 作業面積:800㎡ (4) 参加者:12人 作業面積:1,500㎡ (5) 参加者:10人 作業面積:1,600㎡ (6) 参加者:11人 作業面積:4,200㎡ (7) 参加者:9人 作業面積:1,200㎡ (8) 参加者:15人 作業面積:700㎡ | 決算額 203千円 |
| 90 | 用瀬地域活性化推進事業(用瀬町エコツーリズム推進事業) | 用瀬町総合支所地域振興課 | | ○ | | | | | | | | | | ○ | | | 自然景観等を観光資源として活用するため、整備等を図り、さらに活性化に向けて地域資源の推進事業を継続します。 | 「流しびなの里をめぐるエコツーリズム」を推進し、用瀬アルプス(三角山～洗足山に至る山系)や周辺を含めて、環境の整備、維持管理を行い、登山者等の集客に活用します。 | 実施時期 令和4年6月～5年2月 場 所 用瀬町内(三角山等) 実 績 額 150千円 | |
| 91 | 合併地域活性化推進事業 | 気高町総合支所地域振興課 | | ○ | | | | | | | | | | ○ | | | 将来にわたり地域住民が安心して暮らし続けることができる地域づくりに住民自らが主体的に取り組む「小さな拠点」の機能形成と地域運営組織の体制強化を支援します。 | 住民活動団体が中心となって、まちづくり実施計画に基づいた事業を行い、街並みの再生と地域の活性化の推進ができます。 | まちづくり実施計画に基づいた事業を実施し、浜村地区の活性化が推進できた。 R4.5.4 プレ植樹祭、R5.3.5空き家バンク設立PRのための見学会開催、R5.2.11世代間交流イベント(30名) | |
| 92 | 合併地域活性化推進事業 | 気高町総合支所地域振興課 | | ○ | | | | | | | | | | ○ | | | 将来にわたり地域住民が安心して暮らし続けることができる地域づくりに住民自らが主体的に取り組む「小さな拠点」の機能形成と地域運営組織の体制強化を支援します。 | 温泉の魅力を発信するすることにより活力のある地域振興と地域住民の健康増進を図り、世代間を超えた交流を促進し、みんなで取り組む地域づくりに貢献できます。 | 実行委員会との協働により活力ある地域づくりにつなげることができ、次年度以降の事業開催に向け大きな弾みとなった。新聞掲載され地域社会へ広く紹介することができた。 R5.3.5町内イベント実施取組として、共同浴場を家族風呂として開放。 | |
| 93 | 合併地域活性化推進事業 | 気高町総合支所地域振興課 | | ○ | | | | | | | | | | ○ | | | 将来にわたり地域住民が安心して暮らし続けることができる地域づくりに住民自らが主体的に取り組む「小さな拠点」の機能形成と地域運営組織の体制強化を支援します。 | 安全・安心で心豊かに暮らせる住みよいまちづくりを促進するため、住民自ら地域の身近な課題を把握しその解決に向けて活動することができます。 | R4.12.1 担い手を1名雇用し、住民との交流を図る新体制の取組を始めた。 R4.11.30 先進地視察(兵庫県豊岡市の南竹野地区)(8名) 講師を招へいし意見交換会 R4.4.17(40名) R4.5.28(10名) | |
| 94 | 原材料支給事業 | 気高町総合支所産業建設課 | | | ○ | | | | | | | | | ○ | | | 市民と行政が協働のまちづくりを進めるため、市道や公衆用道路の有効利用、事故防止のための維持管理など市民の道路の利便性向上を図るよう、自治会等が実施する道路施設整備に対して原材料を支給します。 | これまで、行政に頼りがちであった道路施設の整備であったが、原材料支給制度の活用により、自治会、町内会で施設整備する事業が大幅に増えました。 | 令和4年度実績 予算額 :108千円 件数 :2件 支給原材料:砕石、真砂土など | |

市民等との協働による取組事例(令和4年度実績)

| 番号 | 事業名 | 担当課 | 協働の相手方(該当するものは全て選択) | | | | | | | 事業の形態 | | | | | | | | 事業の概要 | 事業の効果 | 事業の実績(実績値) |
|----|-----------------------|------------------|---------------------|----------------|-----------|------------|-------|------------------|-----------|-----------|------|---------|--------|------|---------|------|--|--|--|------------|
| | | | ① 広く市民一般 | ② NPO団体・市民活動団体 | ③ 自治会、町内会 | ④ まちづくり協議会 | ⑤ 企業等 | ⑥ 学校、保育園、幼稚園、PTA | ⑦ その他の団体等 | ⑧ 具体的な名称等 | ① 共催 | ② 実行委員会 | ③ 事業協力 | ④ 後援 | ⑤ 補助・助成 | ⑥ 委託 | ⑦ 情報提供・情報交換 | | | |
| 95 | 気高地区 海浜清掃 | 気高町総合支所 産業建設課 | | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | 酒津・船磯漁港管内の海岸には、大量の海からの漂着物(一般廃棄物や漁具類)が流れ込み、周辺町内会やボランティアの協力を得て、海岸清掃を通年実施する。 | 漁港内の海岸清掃を通年することによって、環境を守るとともに、身の回りの環境に対する意識を高める機会となります。 | 令和4年度実績 ○9月17～18日 船磯海岸 アラカイ(サーファー団体) 参加 20名 ○7月10日 船磯海岸 県警備業協会 参加者 40名 ○6月5日 酒津漁港 酒津部落 参加130名程度 ○5月15日 船磯漁港 漁港組合員 参加20名 ○通年実施 酒津海岸 個人ボランティア 1名 ○ 通年実施(月曜日)浜村海岸 ボランティア 団体 5名 | |
| 96 | 花いっぱい のまちづくり 事業 | 鹿野町総合支所 地域振興課 | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ○ | | | | | | | | 四季の花を通じて人々がふれあい、安らぎとゆとりを感じることができる「四季“薫るまち”鹿野」を推進するため、花いっぱいのまちづくり事業を行います。夏はハス、花菖蒲による景観形成事業を多様な市民グループと協働して実施します。 | 年間を通じたハスの親株の育成、「城下町しかのぶらり蓮ウォーク」への協力、株分けしたハスの町内配布などにより、ハス・花菖蒲で夏の鹿野を彩ります。この事業をとおして、住民の地域活性化に向けた一体感が醸成されると同時に、交流人口の増加・地域経済の活性化に繋がります。 | ハス園の整備、花菖蒲畑の拡大整備、ハスの株分け作業等を行った。また、ハスの案内看板の設置、開花状況等の情報発信を行った。 ・ハス園・・・約6,000㎡ ・除草等ボランティア活動 回数4回 参加人数50名 ・レンコン掘り 24名 ・ハス植替え 8名 | |
| 97 | 鹿野魅力 アップ事業 | 鹿野町総合支所 地域振興課 | | ○ | | | | | ○ | | | | | | ○ | | 鹿野地域魅力アップ推進プロジェクトチームを設置し、各種団体間の情報提供と相互連携を図り、多様な広報媒体の活用と効果的な情報発信をすることで、鹿野地域のさらなる知名度の向上を図ります。 | 各種団体が協調して取り組むことにより、地域活性化に向けた一体感が醸成されると同時に、交流人口の増加・地域経済の活性化に繋がります。 | 月に1度会議を開催し、相互の連携を図るとともに、鹿野地域で行われるイベント、まちの話題及び地域活性化にかかわる取組に関する情報発信をSNS等で行った。 ・参加団体 7団体 ・実施回数 10回 | |
| 98 | 鹿野城跡 公園景観 整備事業 | 鹿野町総合支所 地域振興課 | ○ | | | | | | ○ | | | | | | | ○ | 鹿野城跡公園に植栽されているサクラ・モミジ・ヤマブキや貴重な山野草などの保護・育成活動を、多くの人々を巻き込んで実施し、地域のシンボルである鹿野城跡公園の美観を向上させ、地域の活性化を図ります。 | 鹿野城跡公園は地域住民の憩いの場であり、小学生から高齢者まで幅広い年代の住民が世代間交流しながら景観整備活動を行うことで、郷土愛が深まります。また、観光スポットとしての魅力が向上し、交流人口の増加、地域経済の活性化に繋がります。 | 植樹、清掃、施肥、剪定などの作業を実施 7月10日 夏季作業 9月25日 粟研堀景観整備作業 11月6日 秋季作業・食イベント事業 3月5日 春季作業 ・参加者・・・延べ約125名 | |
| 99 | 街なみ環 境整備事 業 | 鹿野町総合支所 地域振興課 | ○ | | | | | | | | | | | | | ○ | 鹿野城下町地域の町内7地区の街なみ協定運営委員会が連携し、城下町らしい風情ある街なみの景観整備を推進するため、平成17年から活動しています。 | 地域住民が中心となって城下町の景観整備を推進することにより、住民が誇りに思える住環境を創出し、まちの活性化を図ります。 | 城下町地区にある水路上へ竹花籠を設置し、季節毎に花の植え付けを行った。 ・実施回数 3回 | |

市民等との協働による取組事例(令和4年度実績)

| 番号 | 事業名 | 担当課 | 協働の相手方(該当するものは全て選択) | | | | | | | 事業の形態 | | | | | | | | 事業の概要 | 事業の効果 | 事業の実績(実績値) |
|-----|--------------|--------------|---------------------|---------|-----------|------------|-------|---------|-----------|---------|------|---------|--------|------|---------|------|-------------|---|--|---|
| | | | ① 広く市民一般 | ② NPO団体 | ③ 自治会、町内会 | ④ まちづくり協議会 | ⑤ 企業等 | ⑥ 園、PTA | ⑦ その他の団体等 | 具体的な名称等 | ① 共催 | ② 実行委員会 | ③ 事業協力 | ④ 後援 | ⑤ 補助・助成 | ⑥ 委託 | ⑦ 情報提供・情報交換 | | | |
| 100 | 農村集落活性化支援事業 | 鹿野町総合支所地域振興課 | ○ | ○ | | | | | ○ | | | | | | | | | 農村地域(河内地区)の耕作放棄地を活用した、「鹿野町【河内】果樹の里山」の拠点施設整備等とおして、地域のネットワークを活かした新たな農村の活性化への取り組みや、都市交流、地域の雇用実現を目指します。 | 耕作放棄地を含む地域全体を観光・体験農園である「鹿野町【河内】果樹の里山」として計画・整備することにより、新たな農地活用・地域活性化に繋がります。また、計画策定、整備の過程において大学、ボランティアの協力を得ることで都市との交流が創出されます。さらには、果樹を活用した製品や観光農園・体験農園を活用した交流及び都市への販売ネットワーク構築により、地域雇用・事業創出が実現します。 | <ul style="list-style-type: none"> 果樹・野菜の植え付け、農道整備、はなも新植による里山景観づくり計4.5ha 直販、販売の推進 果樹の里山まつり10月23日(日)開催 約100名参加 果樹を利用した製品化(ジャム、ドライフルーツ) HPを利用した果樹の里山PR 大学との交流事業(大阪国際大学、来訪:4回) 収穫祭、情報発信、販売促進の協力 |
| 101 | 町内一斉美化運動 | 鹿野町総合支所地域振興課 | | | ○ | | | | ○ | | | | | | | | | 鹿野町全集落を対象としたボランティア一斉清掃です。 実施日(清掃):令和4年11月6日(日) 実施日(収集及び処分):令和4年11月9日(水)清掃日の翌週 清掃場所:各集落道路周辺、河川敷等 清掃対象:可燃物(草等)、不燃物(プラスチック等) | 鹿野町全集落を対象としたボランティア清掃として、毎年1回実施されています。地域でできることは、みんなで協力して取り組むという意識は定着しており、清潔で美しいまちづくりの推進に大きく貢献しています。 | <ul style="list-style-type: none"> ボランティア清掃を行い、地域の美化活動 参加自治会数 46集落(回収ごみ) 可燃ごみ 380kg 不燃ごみ 70kg |
| 102 | 青谷地域にぎわい創出事業 | 青谷町総合支所地域振興課 | | | | | | | ○ | | | | | | | | | <p>青谷地域にぎわい創出事業として「青谷因州和紙産地強化事業」と「青谷ようこそ市場(通称:あおいち)事業」「青谷上寺地遺跡利活用推進事業」を実施します。</p> <p>「青谷因州和紙産地強化事業」は、伝統的技法にのっとった手すき和紙製作技術の後継伝承を図るとともに、因州和紙を広くPRする事業を実施します。</p> <p>「青谷ようこそ市場(通称:あおいち)事業」は、青谷の海、山の豊かな自然から生み出される豊富な産物を活用し、鳥取市西商工会・農協など各種団体と協力し、青谷の特産物を販売PRします。</p> <p>「青谷上寺地遺跡利活用推進事業」は、全国的に誇れる地域遺産である青谷上寺地遺跡を有効活用していくため、各関係団体、地域住民との協働により地域活性化を目指します。</p> | <p>青谷因州和紙産地強化事業として</p> <ul style="list-style-type: none"> ①因州青谷こぞ紙手すき和紙保存事業 ②因州和紙PR事業 ③因州和紙フェスタ:日置地区まちづくり協議会と連携して実施し、伝統的工芸品「因州和紙」のPRと「因州和紙」の新たな活用方法を研鑽していきます。 <p>青谷ようこそ市場事業では、あおいちを9月及び10月の2回開催します。豊かな自然など、青谷に豊富にある地域資源や青谷の魅力を市内外に発信します。</p> <p>青谷上寺地遺跡利活用推進事業では、青谷かみじちフェスタや青谷かみじちスタンプラリーなどにより、青谷上寺地遺跡のPRと地域の魅力発信を行います。</p> | <ul style="list-style-type: none"> 青谷因州和紙産地強化事業 ・因州青谷こぞ紙手すき和紙保存事業 ・トロアオイ栽培試験研究等 ・因州和紙PR事業 ・青谷かみじちフェスタにて和紙コーナーの実施等 ・因州和紙フェスタ ・コロナウイルス感染症拡大により中止 <p>青谷ようこそ市場(通称:あおいち)事業 開催日:10月23日 来場者数:約400人 (9月4日はコロナウイルス感染症拡大により中止)</p> <p>青谷上寺地遺跡利活用推進事業 ・青谷かみじちフェスタ:11月13日入場者1800人 ・青谷かみじちスタンプラリー:11月6日～27日参加者124人 ・青谷かみじち史跡公園オープンに向けて、まちのにぎわいづくりを考えるつどい:第1回9月25日参加者31人 第2回2月4日参加者24人</p> |

市民等との協働による取組事例(令和4年度実績)

| 番号 | 事業名 | 担当課 | 協働の相手方(該当するものは全て選択) | | | | | | | 事業の形態 | | | | | | | | 事業の概要 | 事業の効果 | 事業の実績(実績値) |
|-----|------------------|--------------|---------------------|----------------|-----------|------------|-------|---------|-----------|---------|------|---------|--------|------|---------|------|---|--|--|---|
| | | | ① 広く市民一般 | ② NPO団体・市民活動団体 | ③ 自治会、町内会 | ④ まちづくり協議会 | ⑤ 企業等 | ⑥ 園、PTA | ⑦ その他の団体等 | 具体的な名称等 | ① 共催 | ② 実行委員会 | ③ 事業協力 | ④ 後援 | ⑤ 補助・助成 | ⑥ 委託 | ⑦ 情報提供・情報交換 | | | |
| 103 | 青谷地域活性化推進事業 | 青谷町総合支所地域振興課 | | ○ | | | | | | | | | | | | | 青谷地域づくり連絡協議会 | 因州和紙、鳴り砂、青谷上寺地遺跡等の地域資源を次代に継承する事業を地域住民団体で実施します。因州和紙で作製した灯ろうを日置川周辺に設置し和紙の魅力をPRする活動、JR青谷駅舎前などの花壇整備による環境美化活動、鳴り砂の浜を保全活用し、自然環境を考える「鳴り砂クリーン作戦」「あおや鳴り砂ビーチフェスタ」、長尾鼻の自然環境の保全活動、青谷上寺地遺跡など地域の歴史を学ぶ活動、交通の玄関口JR青谷駅に装飾した展示物の飾り付けによる青谷のPR活動、青谷町内外のイベントでの特産品PR販売および新たな特産品開発、空き家を活用しての青谷の魅力発掘活動、そして、青谷町観光PR動画制作による観光促進活動を協議会で実施します。 これら事業の実施にあたるため、青谷地域づくり協議会の団体や会員が相互に協力し、青谷地域の活性化を図ります。 (1) 因州和紙活用活動 (2) 環境美化活動 (3) 鳴り砂保全活動 (4) 青谷上寺地遺跡学習活動 (5) ふるさとPR活動 (6) 長尾鼻自然保全活動 (7) 青谷町物産販売促進活動 (8) 青谷の魅力発掘活動 (9) 観光促進活動 | 本事業は、青谷の地域づくりのために活動している市民団体が、お互いに支援・協力しながら取り組む事業です。特に、青谷の豊富な地域資源である因州和紙、鳴り砂、青谷上寺地遺跡等を活用した事業を展開し、多くの市民の参加を呼びかけます。これにより、青谷の魅力を内外へアピールし、再発見するとともに、これらを次代へつなぐことの大切さを感じることができるよう取り組みます。 | ・因州和紙活用活動 和紙灯ろう「あおや夢灯ろう」設置:7月23日～8月26日 ・美化活動 JR青谷駅舎前、青谷図書室前、各地区公民館のプランター維持管理等 ・鳴り砂保全活動 ○鳴り砂クリーン作戦 第1回6月12日 参加者80人、第2回10月2日 参加者120人 ○SUP体験 7月24日 参加者25人 ○シーカヤック&水上サイクリング体験 8月20日参加者27人 ○あおや鳴り砂ビーチフェスタ2022 参加者:110人 ・青谷上寺地遺跡学習活動 国史跡青谷上寺地遺跡講演会 参加者27人(1回はコロナウイルス感染症拡大により中止) ・ふるさとPR活動 JR青谷駅の展示物飾り付け ・長尾鼻自然保全活動 長尾鼻周辺の植樹、草刈、整備および夕陽が丘展望広場のごみ箱、灰皿撤去 ・青谷町物産販売促進活動 青谷町の農産物で新たな特産品開発: 甘長とうがらし味噌加工・販売 ・青谷の魅力発掘活動 空き家ツアー12月11日 参加者16人 ・観光促進活動 観光PR動画3本制作し、青谷町観光協会HPへ掲載 |
| 104 | 小中学校芝生化事業 | 教育総務課 | | | ○ | | | ○ | | | | | | | | | PTA・地区が主体となり、学校教職員及び児童が協力して段階的に植付け及び管理を行う事業。 鳥取県及び県体育協会の補助金を活用する場合は、初年度の技術的支援は県等より受けられるため、2年目以降の材料代(肥料・冬芝)を市が負担する。 | (環境面) ・夏場の地面温度の上昇抑制。 ・砂埃が減少する (教育面) ・怪我(すり傷)を気にせず裸足でのびのび遊べる。 ・緑色がもたらす視覚的效果で安らぎを与える。 ・手足肌への感触が良い。 ・子どもの外遊びが増える。 ・体力増進・ストレス発散などの効果が見られる。 | 芝生化した場合、校庭の凹凸の発生は避けられず活動競技内容により適否があることから、体育会等地域住民と学校の判断で適正と認められた場合のみ芝生化を支援している。 自動芝刈機リース 9校 芝刈業務委託 8校 芝生維持関係消耗品費 17校 | |
| 105 | 学校のあり方を考える検討組織支援 | 教育総務課 | | | ○ | ○ | | ○ | | | | | | | | | 自治会、まちづくり協議会、公民館、小・中学校、幼稚園、保育園、PTA等 | 保護者や地域の方の様々な思いを地域全体の意向として集約していく「学校のあり方を考える検討組織」づくりを進める。鳥取市教育委員会としては、議論の参考となる情報提供や先進地視察の企画などの支援を行う。 | 学校と家庭と地域が一体になり、子どもたちの育ちや地域の将来を見据え、各地域の実情に応じた活力ある学校づくりにつながる。 | 「学校のあり方を考える検討組織(学校区単位)」の設置促進のため、鳥取市立学校適正規模・適正配置基本方針に基づき、説明会等を実施し周知を進めるとともに、各地域において地域検討組織を立ち上げていただくよう働きかけを行う。 |

市民等との協働による取組事例(令和4年度実績)

| 番号 | 事業名 | 担当課 | 協働の相手方(該当するものは全て選択) | | | | | | | 事業の形態 | | | | | | | | 事業の概要 | 事業の効果 | 事業の実績(実績値) |
|-----|-------------------------------|---------|---------------------|----------------|-----------|------------|-------|------------------|------------------|---------|------|---------|--------|------|---------|------|---|---|--|------------|
| | | | ① 広く市民一般 | ② 市民活動団体・NPO団体 | ③ 自治会、町内会 | ④ まちづくり協議会 | ⑤ 企業等 | ⑥ 学校、PTA、保育園、幼稚園 | ⑦ その他の団体等 | 具体的な名称等 | ① 共催 | ② 実行委員会 | ③ 事業協力 | ④ 後援 | ⑤ 補助・助成 | ⑥ 委託 | ⑦ 情報提供・情報交換 | | | |
| 106 | 放課後児童対策事業 | 学校教育課 | | | | | | | 保護者会、NPO法人 | | | | | | | | 保護者が就労等により昼間家庭にいない小学校低学年児童を学校の放課後や長期休業中預かるため、各小学校区に放課後児童クラブを開設し、保護者会若しくはNPO法人に委託し運営します。 | 共働きや一人親家庭の増加により年々高まっている放課後児童クラブへのニーズに対応し、児童の健全育成を図ります。 | ・40小学校区において72クラブと、附属小学校児童を対象とした4クラブを開設し、内30クラブを保護者会へ、46クラブをNPO法人へ運営委託 ・入級児童数:3,051人 | |
| 107 | 放課後子ども教室推進事業 | 学校教育課 | | | ○ | | | | 公民館長、地域住民 | | | | | | | | 放課後や週末等に小学校の空き教室や近隣の公共施設等を利用し、地域住民の協力のもと、学習やスポーツ、文化活動、交流活動などを実施します。 | 放課後や週末等における地域の子どもの安全、安心な活動拠点(居場所)を確保するとともに、地域の様々な資質を有する多くの大人たちの参画を得ることにより、子どもたちが、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進します。 | ・4小学校区において4教室を開設 ・入級児童数:112人 | |
| 108 | 食育の日「ふるさと鳥取お宝献立の日」 | 学校保健給食課 | | | | | | | 学校、地場産物生産者(生産団体) | | | | | | | | 毎月19日「食育の日」を「とっとりふるさと探検」として、全市一斉に、鳥取市内各地域の産物を使用した学校給食を提供します。合わせて、掲示資料・動画を作成し、小中義務教育学校へ配布・配信及び食指導に活用するため、現地視察や生産者への取材を行います | 学校給食に鳥取市内各地域の産物を取り入れ、それを「生きた教材」として活用した食に関する指導を行うことにより、児童生徒が地域の自然、食文化、産業等についての理解を深め、尊重する心を育むとともに、生産等にかかわる人々へ感謝の気持ちを抱かせることを目指します。 | 平成23年度から実施 市立小中義務教育学校全56校 掲示資料・動画ともに年間9回(5～2月) | |
| 109 | 重要文化財 旧美敷水源地水道施設 一般公開及び管理委託業務 | 文化財課 | | ○ | ○ | | | | 美敷水源地保存会 | | | | | | | | 平成30年4月より国指定重要文化財「旧美敷水源地水道施設」を4月～11月(平日、土日、祝日)の期間で一般公開します。美敷地区の有志により結成された美敷水源地保存会に日常的な施設管理を委託し、来場者の対応をしていただいています。 | 美敷水源地保存会による適切な管理(施設清掃、除草等)が実施されているため、来場者に気持ちよく利用していただけるほか、地域住民が地域の文化遺産の保護に携わり、来場者にその価値を伝えることで、今後の施設の在り方について理解が深まります。 | 一般公開 公開期間:令和4年4月～11月 年間来場者数:18,669人 | |
| 110 | 梶山古墳壁画一般公開事業 | 文化財課 | | ○ | | | | | いなば国府ガイドクラブ | | | | | | | | 国史跡 梶山古墳の壁画と石室を年1回一般に公開します。因幡こくふガイドクラブの協力による、古墳の解説の他農産物・加工品の販売を行います。 | 小・中学生から家族連れ等で気軽に参加できることから、年々参加者の幅も広くなり、県内外から多数の参加者があり、リピーターも多くなっています。 | 特別公開 実施:令和4年10月1日、2日 参加者数:96人 | |

市民等との協働による取組事例(令和4年度実績)

| 番号 | 事業名 | 担当課 | 協働の相手方(該当するものは全て選択) | | | | | | | 事業の形態 | | | | | | | | 事業の概要 | 事業の効果 | 事業の実績(実績値) |
|-----|---------------------|------------|---------------------|-----------|-----------|------------|-------|---------|------------------------|-----------|------|---------|--------|------|---------|------|-------------|---|--|---|
| | | | ① 広く市民一般 | ② NPO市民団体 | ③ 自治会、町内会 | ④ まちづくり協議会 | ⑤ 企業等 | ⑥ 園、PTA | ⑦ その他の団体等 | ⑧ 具体的な名称等 | ① 共催 | ② 実行委員会 | ③ 事業協力 | ④ 後援 | ⑤ 補助・助成 | ⑥ 委託 | ⑦ 情報提供・情報交換 | | | |
| 111 | 因幡国庁管理委託業務 | 文化財課 | | ○ | | | | | 因幡国庁愛護会 | | | | | | ○ | | | 国史跡 因幡国庁跡の管理のため、地域住民有志によって愛護会が結成され、国庁跡の植栽が適切に管理されています。 | 国庁跡の植栽が定期的に剪定・除草されているため、史跡内が見渡せ、死角がありません。このため、地域住民に安全性の確保と、憩いの空間を提供しています。また、地域の活用のもとで地元の自治会・保育園などに親しまれています。 | 実施:令和4年5月～11月 実施回数:7回 |
| 112 | 栃本廃寺跡公開事業 | 文化財課 | | ○ | ○ | | | | いなば国府ガイドクラブ・栃本自治会 | | | ○ | | | | | | 国史跡 栃本廃寺跡を一般公開します。栃本自治会・いなば国府ガイドクラブの協力により、廃寺跡の解説を行います。 | 栃本廃寺の魅力を見学していただき、今後の施設の保存整備の在り方・活用について理解を深めていただき、地域の憩いの場として地元の自治会等に広くPRができます。 | 特別公開 実施予定:令和4年10月1日 参加者数:30人 |
| 113 | 鳥取城跡保存修理事業 | 文化財課 | ○ | ○ | | | | ○ | 久松山を考える会・東部林業 | | | ○ | | | | | | 史跡鳥取城跡・久松山の管理活用について、植栽管理ボランティアや各種の活用事業に取り組まれている市民・団体の活動を支援し、史跡の保存活用を図ります。 | 長期計画に基づいて実施している史跡鳥取城跡の整備を円滑に進め、市民による保護・活用が進みます。 | 植栽管理ボランティア 実施日:令和4年6月25日 その他の活動 随時 |
| 114 | 特別天然記念物コウノトリ保護事業 | 文化財課 | ○ | ○ | | | | | コウノトリ築塔所有者・日本野鳥の会鳥取県支部 | | | ○ | | | ○ | | | 特別天然記念物コウノトリの営巣・子育てについて観察・個体識別票の設置など必要な対応をとるため、総合的に協力していただきます。 | 特別天然記念物コウノトリの保護が進みます。 | コウノトリ観察 ヒナへの識別俵設置 実施日:令和4年5月27日 参加者数:7人 |
| 115 | 青谷上寺地遺跡保存活用事業 | 文化財課 | | ○ | | | | | 青谷上寺地遺跡史跡保存活用協議会 | | | ○ | | | | | | 国史跡青谷上寺地遺跡の維持管理・活用運営に関する「アクションプラン」の検討、古代米栽培等の事業実施などを行います。 | 国史跡青谷上寺地遺跡の史跡整備に向けて、県と市及び民間が協働・連携して事業を行うことにより、住民等の史跡に対する理解・誇りと親愛の情を深めます。 | 古代米栽培体験 田植え 6月15日 稲刈り 10月12・13日 参加者数:91人 |
| 116 | さじアストロパーク企画イベント等事業費 | 生涯学習・スポーツ課 | | | | | | ○ | さじアストロパーク | | | ○ | | | ○ | | | さじアストロパークを活用し、イベント等を開催する。開催事業:さじアストロパーク3大祭り(星、月、雪)プラネタリウム独自開発番組の制作・投影 | さじアストロパークを活用して事業をおこなうことにより、地元団体及び住民の活動の活性化と参加者との交流を推進する。プラネタリウム独自番組を制作・投影することにより、佐治地域の魅力発信と集客をおこなう。 | 令和4年度実績 実績額(委託費) 2,718千円 ・イベント参加人数 2,679人 ・プラネタリウム独自番組制作 4作品 |
| 117 | 少年愛護センター街頭パトロール | 生涯学習・スポーツ課 | | | | | | ○ | 少年愛護センター補導員 | | | ○ | | | ○ | | | 少年たちが好んで集まり、問題行動を起こしやすい場所(鳥取駅周辺、駅構内、百貨店、公園など)を中心に補導計画に基づき、少年愛護センター職員と小・中・高等学校教職員、民生児童委員、各種団体・企業が街頭補導を実施します。 | 学校教職員・民生児童委員等と街頭補導を実施することにより、子ども達の街での現状を共通認識できます。また現状を把握することによって各学校・団体においての青少年健全育成の取組に反映し、各団体での子どもたちを見守る機運が醸成されます。 | 令和4年度実績 実績額(報償費) 178千円 ・補導員人数 254人 ・街頭パトロール回数 86回/年 ・巡回パトロール回数 118回/年 |
| 118 | 鳥取市成人式に関する事業 | 生涯学習・スポーツ課 | | | | | | ○ | 成人式実行委員会 | | | ○ | | | | | | 新成人の二十歳の門出を祝うとともに、新成人に大人としての自覚と責任を促すことを目的に開催します。 | 新成人による実行委員会において企画運営することにより、参加者の希望に沿ったアトラクションを開催することができます。また実行委員となった新成人は、成人式を開催するという一つの目標に向かって協力することにより、仲間意識が芽生え、新しい人間関係を築くことができます。 | 令和4年度実績 実績額 2,170千円 期日:令和5年1月3日(火) 会場:とりぎん文化会館 対象者:平成14年4月2日から平成15年4月1日生まれ 対象者数:1,795人 参加者数:1,195人 実行委員数:12人 |

市民等との協働による取組事例(令和4年度実績)

| 番号 | 事業名 | 担当課 | 協働の相手方(該当するものは全て選択) | | | | | | | 事業の形態 | | | | | | | | 事業の概要 | 事業の効果 | 事業の実績 (実績値) |
|-----|-----------------|------------|---------------------|---------|-----------|------------|-------|---------|-----------|---------|------|---------|--------|------|---------|------|-------------|--|---|---|
| | | | ① 広く市民一般 | ② NPO団体 | ③ 自治会、町内会 | ④ まちづくり協議会 | ⑤ 企業等 | ⑥ 園、PTA | ⑦ その他の団体等 | 具体的な名称等 | ① 共催 | ② 実行委員会 | ③ 事業協力 | ④ 後援 | ⑤ 補助・助成 | ⑥ 委託 | ⑦ 情報提供・情報交換 | | | |
| 119 | 青少年育成鳥取市民会議補助 | 生涯学習・スポーツ課 | | | ○ | | | | | | | | | | | | ○ | 健全な青少年育成のため、広く市民の創意を結集し、青少年育成県民会議の施策に呼応するとともに、独自の活動も設定して、次代を担う青少年の健全育成を図るため諸事業の推進に努めます。 | ①関係行政機関をはじめ家庭、学校、地域、企業が一体となってそれぞれの機能を十分発揮し、市民総ぐるみの取組によって青少年の健全育成を市民運動として強力に推進できます。 ②主に小中学生を対象としたイベントを青年団体が実施することで異年齢交流をすることができ、イベントを通して、青年団体等の仲間づくりや地域づくりの取組を進めます。 | 令和4年度実績 ①地区協議会 39地区 実績額 1,511千円 青少年非行防止助成費も含む) ②実施団体 2団体 実績額 159千円 |
| 120 | 鳥取マラソン開催事業 | 生涯学習・スポーツ課 | | | | | | | ○ | | | | | | | | ○ | 平成19年度以降、湖山池一周ハーフマラソンと日本海マラソンを統合した鳥取マラソンを実施(実行委員会の構成:鳥取県、鳥取市、鳥取陸上競技協会、新日本海新聞社)。R4は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、「オンライン開催」(3年連続)とした。 | 3年連続「オンライン開催」としたが、開催期間内であればいつでもどこでも好きなタイミングで走ることができ、また参加者自身の体力・体調に合わせて無理のない負荷で実施できると好評を得た。 | ・開催期間 R5.3.12~25 ・参加者数 1,297人 (募集定員2,000人) ・鳥取市負担金 1,700千円 |
| 121 | 麒麟のまちスポーツ振興事業 | 生涯学習・スポーツ課 | ○ | | | | | | | | | | | | | | | 民間団体が開催する麒麟のまち圏域の住民を対象としたスポーツイベントに対し、イベント規模に応じて支援を実施します | 既存の大会では対応できない多岐にわたるスポーツニーズの充足と、イベント運営に当たるスポーツリーダー育成を目指します。また、麒麟のまち圏域の住人が集う大会を開催することで、住民の交流を促します。 | 採択事業 ○第3回麒麟のまちBEACH SOCCER GAMES【1,500千円】 令和4年10月9日、令和5年3月25、26日開催 参加:1,196人 ○麒麟のまちジュニアバドミントン大会〜藤井瑞希カップ【1,000千円】 (バドミントン大会) 令和4年12月10、11日開催 参加:1,196人 ○鷲峰山麓ハーフマラソンin麒麟のまち【1,000千円】 令和4年11月27日 参加:687人 |
| 122 | スポーツイベント再開支援 | 生涯学習・スポーツ課 | | | | | | | ○ | | | | | | | | ○ | スポーツイベントを開催する団体に対し、新型コロナ感染対策備品(AIIサーマルカメラ、非接触体温計、手指消毒液、電子ホイッスル等)を市体育協会から無償で貸し出しを行います。 | スポーツイベントを開催するうえで、イベント開催者に対し検温や手指消毒等の対応が必須事項となっています。これら対策費用の負担が大きくスポーツイベント開催の妨げになっているため、体育協会を通じて行う備品貸し出しは、各種団体から好評を得ています。 | タブレット型体温検知カメラ 3、サーマルカメラ 1、非接触型体温計 10、飛沫防止パーテーション 10、電子ホイッスル 10 貸出:延べ50回 |
| 123 | 地域運営型部活動推進モデル事業 | 生涯学習・スポーツ課 | | ○ | | | | | | | | | | | | | | 総合型地域スポーツクラブを母体としてスポーツ指導者人材バンクを立ち上げ、その人材バンクから中学校に外部指導者を派遣することで、教職員に代わって部活動運営を行います。 | 部活動の指導者を地域が担う人材バンクを形成することで、教職員の時間外労働の削減やレベルの高い競技指導が可能となります。学校体育と社会体育が一体となることで、地域の子供から高齢者まで一緒にやり行う生涯スポーツを推進してまいります。 | 決算額:694,878円 指導者派遣:5回 学校調整:2回 |
| 124 | 地域社会教育活動総合事業 | 中央図書館 | ○ | | | | | | | | | | | | | | ○ | まちライブラリーの運営 まちライブラリーは、市民がメッセージをつけた「本」を持ち寄り、まちのいろいろなところに小さな本棚(図書館)をつくり、本で人とつながり合おうという文化活動です。鳥取駅構内と中央図書館内の2カ所に設置しました。 管理・運営は中央図書館が行いますが、市民が本を提供して下さることで、まちライブラリーの充実が図られます。 | 市民が身近に読書に親しむ機会を一層推進するとともに、市民が主体となり、本を介した交流を図ります。 私設のまちライブラリーが設置され、にぎわいや、地域交流の場ができるよう、普及に努めます。 | 本の提供冊数 累計 144冊 内訳 鳥取駅構内 132冊 中央図書館 12冊 |
| 125 | 地域社会教育活動総合事業 | 中央図書館 | ○ | | | | | | | | | | | | | | ○ | 中央図書館が実施する毎月第1・2・3・4土曜日のおはなし会でボランティアによる、絵本の読み聞かせ会を実施しています。 | 子どもたちにおはなしの楽しさを知ってもらい読書活動の推進を図っている。 | 年90回実施 参加者 児童及び保護者 604人 実施ボランティア数 14団体 |

市民等との協働による取組事例(令和4年度実績)

| 番号 | 事業名 | 担当課 | 協働の相手方(該当するものは全て選択) | | | | | | | 具体的な名称等 | 事業の形態 | | | | | | | | 事業の概要 | 事業の効果 | 事業の実績(実績値) |
|-----|--------------|-------|---------------------|----------------|-----------|------------|-------|------------------|-----------|---------|-------|---------|--------|------|---------|------|-------------|---|--|------------|------------|
| | | | ① 広く市民一般 | ② NPO団体・市民活動団体 | ③ 自治会、町内会 | ④ まちづくり協議会 | ⑤ 企業等 | ⑥ 学校、保育園、幼稚園、PTA | ⑦ その他の団体等 | | ① 共催 | ② 実行委員会 | ③ 事業協力 | ④ 後援 | ⑤ 補助・助成 | ⑥ 委託 | ⑦ 情報提供・情報交換 | ⑧ その他 | | | |
| 126 | 地域社会教育活動総合事業 | 中央図書館 | | ○ | | | | ○ | | | | | | | | | | 地域情報コーナー・地元企業応援コーナーの提供 地域情報コーナーでは、地域の魅力ある情報や地域活動などを図書館で紹介します。 地元企業応援コーナーでは、地元企業の優れたところを図書館で紹介します。 | 地域情報コーナーでは、人と人、地域と地域がつながり合い、よりよい地域社会のための新しい「もの」や「仕組み」が生み出されることが期待されます。 地元企業応援コーナーでは、企業と地域、企業と企業がつながり合い、よりよい地域社会のための新しい「もの」や「仕組み」が生み出されること、また若者が地元企業への就職を志すなど、地域の発展につながることを期待されます。 | コーナー展示 年9回 | |
| 計 | - | - | 29 | 50 | 42 | 22 | 23 | 17 | 58 | | | | | | | | | - | - | - | |